

RICOH



IPSiO SP C210sf

ユーザーズガイド パソコン活用編



ご使用前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず「安全にお使いいただくために」をお読みください。

ユーザーズガイドの構成







本機には、以下のユーザーズガイドが同梱されています。

	<p>かんたん設置ガイド 必ず本書からお読みください。本機を使用するための準備について記載しています。</p>
	<p>ユーザーズガイド（印刷版） ファクス、コピーのしかたや本機のお手入れ、困ったときの対処法などについて記載しています。</p>
	<p>ユーザーズガイド（CD-ROM） 付属のCD-ROMには、パソコン画面で見ることができる次のユーザーズガイドが収録されています。</p> <ul style="list-style-type: none">• ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF版）：パソコンに接続して使う機能の説明が収録されています。• ネットワーク設定ガイド（PDF版）：ネットワークに接続して使う機能の説明が収録されています。

本書の表記

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

マークについて

	本機をお使いになるにあたって、守っていただきたいことがらを説明しています。
	本機の操作手順に関する補足情報を説明しています。
	本書内の参照先を記載しています。(XXXはページ)
	ユーザーズガイド(印刷版)の参照先を記載しています。(XXXはページ)
	かんたん設置ガイドの参照先を記載しています。(XXXはページ)
	ネットワーク設定ガイド(PDF版)の参照先を記載しています。(XXXはページ)

商標について

Windows® 98の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 operating system です。

Windows® 98SEの正式名称は、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system です。

Windows® 2000 Professionalの正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。
(本文中ではWindows® 2000と表記しています。)

Windows® Meの正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system です。

Windows NT® Workstation 4.0の正式名称は、Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0 です。
(本文中ではWindows NT® 4.0と表記しています。)

Windows® XPの正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional operating system およびMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating system です。

本文中では、OS名称を略記しています。

Microsoft、Windows およびWindows NT は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、PhotoshopはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本書の読みかた

本書は次のようなレイアウトで説明しています。

関連する内容を説明しているページを示します。

見出しインデックスです。現在の章を青色と黒色で示します。

章を示します。

大見出しです。

中見出しです。

操作や関連する内容の補足説明です。

小見出しです。

操作手順です。

必要に応じてイラストや画面を使って説明しています。

ご注意ください。ご注意ください。ご注意ください。

2章 スキャナとして使う

スキャナとして使う

スキャンボタンを利用する

インストールしたソフトの中で、以下の機能は操作パネル上の「Scan」を押してスキャンモードにして使用します。

- スキャンEメール
- スキャンイメージ
- スキャンOCR
- スキャンファイル

「Scan」を使用するには、あらかじめ本機をインターフェースケーブルでコンピュータに接続しておく必要があります。

補足

- ソフトが自動的に起動しないとき
Windows® 2000/XP は、「コントロールパネル」→「スキャナとカメラ」→「Ricoh IPIISO SP C210SF」のプロパティ→「イベント」で、すべてのイベント（ボタン）にControlCenter2を指定します。
- ネットワーク接続をしているとき
本機をネットワークにつないでお使いの場合は、ネットワーク設定ガイド（PDF版）P.101を参照してください。

スキャンEメール

この機能は、スキャン画像をEメールで送る機能です。いったんコンピュータに送ってからコンピュータのメーラー（電子メールを扱うソフトウェア）で送信する方法と、本機で直接メールアドレスを指定して送信する方法があります。ここでは、スキャンしたモノクロまたはカラー原稿を、添付ファイルとしてEメールに取り込む方法を説明します。

- ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする
- 「Scan」を押す
- 「Scan」を押して「スキャン Eメール」を選択する

注意

■あらかじめ、「Presto® PageManager®」を起動させ、[ファイル]メニューの[TWAIN対応機器の選択...]で、接続している機器の機種名を選択しておきます。

44

ページ番号です。

このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

目次 本書の使い方

プリンタ

スキャナ

リモートセットアップ

PDF-Aを使用する

その他の便利な使い方 (ControlCenter2)

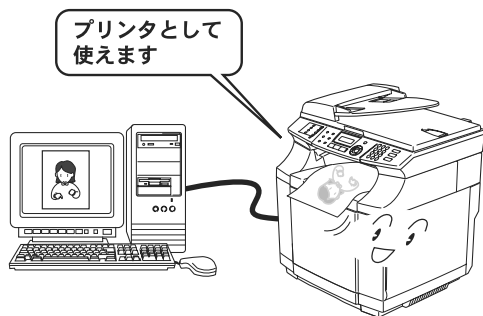
付録

やりたいこと目次

「〇〇したい」から該当ページを参照できます。

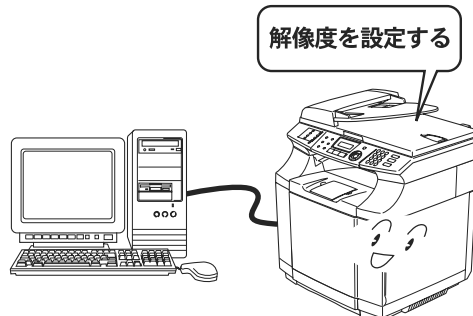
プリンタ

プリンタとして使いたい。



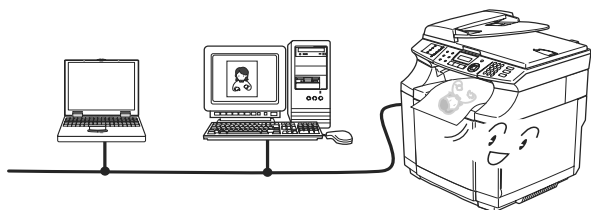
P.11


カスタム設定をしたい。



P.26

ネットワーク内で本機を共有プリンタとして使いたい。



詳しくは、 ネットワーク設定ガイド (PDF版) P.56

P.66 を参照してください。

本書の
使い方
目次

プリンタ

スキャナ

リモートセットアップ

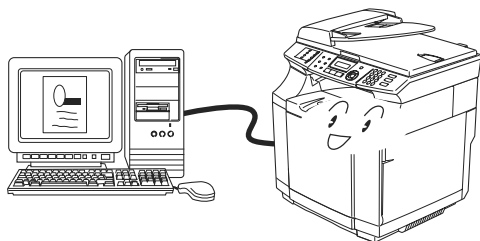
PC FAXを使用する

その他の
便利な
使い方
(ControlCenter2)

付録

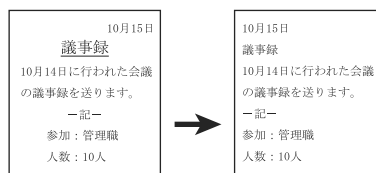
スキャナ

イラストや写真などの画像データをスキャンして編集したい。
[スキャンイメージ]



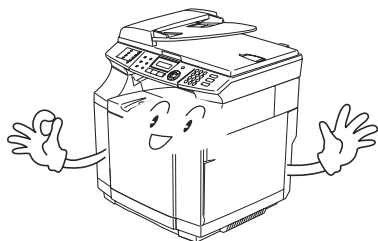
P.46

画像ファイルをテキストファイルに変換したい。



P.47

複数の原稿をまとめてスキャンしたい。



P.44

P.49

目次
本書の使い方

プリンタ

スキャナ

リモートセットアップ

PC FAXを使用する

その他の便利な使い方
(ControlCenter2)

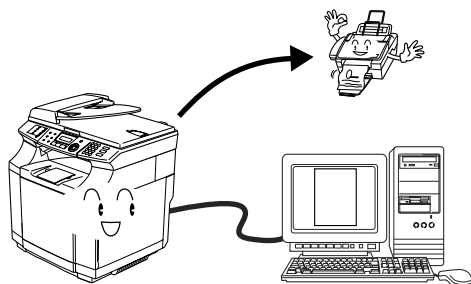
付録

PC-FAX

コンピュータからファクスを送りたい。

[PC-FAX]

コンピュータで作成した書類や画像などを、アプリケーションから直接ファクスできます。印刷してからファクスする必要はありません。

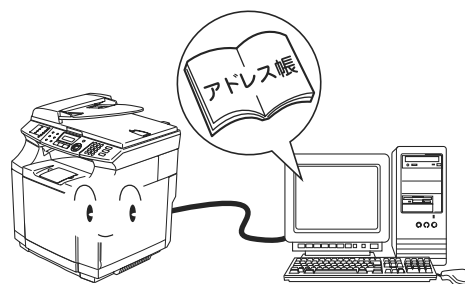


P.65

アドレス帳を利用したい。

[PC-FAX アドレス帳]

PC-FAX を送るときに利用するアドレス帳を作成できます。Outlook Express のアドレス帳データを使用することもできます。

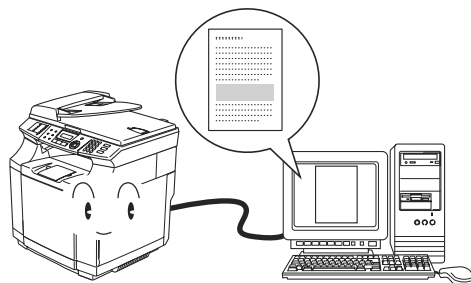


P.70

受信したファクスをコンピュータで確認したい。

[PC-FAX 受信]

受信したファクスを本機と接続しているコンピュータに送ります。コンピュータ上で内容を確認してから印刷できます。



P.80

その他

スキャナ、コピーなどをかんたんに起動したい。
[ControlCenter2]



P.83

コンピュータから印刷状態を確認したい。
[ステータスマニタ]



P.20

目次

ユーザズガイドの構成	1
本書の表記	2
マークについて	2
商標について	2
本書の読みかた	3
やりたいこと目次	4
プリンタ	4
スキャナ	5
PC-FAX	6
その他	7
目次	8
第1章 プリンタとして使う	10
プリンタとして使用する前に	11
ドライバをインストールする	11
プリンタとしての特長	12
印刷する	13
郵便はがきに印刷する	14
セキュリティ印刷をする	15
印刷テストをする	16
プリント設定の初期化	17
色補正をする	18
操作パネルを使用して印刷をキャンセルする	19
印刷状況を確認する（ステータスマニタ）	20
ステータスマニタを起動する	20
本機の状態を確認する	21
プリンタドライバの設定をする	22
ドライバでの設定内容	23
[基本設定] タブでの設定項目	23
[拡張機能] タブでの設定項目	26
[オプション] タブでの設定項目	40
[サポート] タブでの項目	41
第2章 スキャナとして使う	42
スキャナとして使う前に	43
ドライバをインストールする必要があります	43
スキャナとして使う	44
スキャンボタンを利用する	44
TWAIN ドライバを使ってスキャンする（Windows® 98/98SE/Me/2000/XP、Windows NT® 4.0）	49
WIA ドライバを使ってスキャンする（Windows® XP のみ）	53
第3章 リモートセットアップ	56
リモートセットアップについて	57
リモートセットアップを起動する	57
リモートセットアップ設定内容	58
ボタンの説明	58
設定できる項目	59
電話帳登録をする	62


第 4 章 PC-FAX	64
PC-FAX を使用する前に	65
個人情報を設定する	65
送信の設定	66
ファクスを送信する	67
ファクススタイル画面を使用してファクス送信する	67
シンプルスタイル画面を使用してファクス送信する	69
アドレス帳を利用する	70
アドレス帳を設定する	70
アドレス帳に相手先を登録する	71
ワンタッチダイヤルに相手先を登録する	72
登録した相手先をワンタッチダイヤルから削除する	73
同報送信用グループダイヤルに送信先メンバーを登録する	74
アドレス帳の相手先またはグループ情報を修正する	75
アドレス帳の相手先またはグループを削除する	76
アドレス帳をエクスポートする	77
アドレス帳にインポートする	78
送付書を作成する	79
ファクスを直接コンピュータに取り込むための設定	80
本機の設定をする	80
[PC-FAX 受信] を起動する	80
[PC-FAX 受信] の設定をする	80
新規 PC-FAX 受信したメッセージを確認する	81
第 5 章 その他の便利な使い方 (ControlCenter2)	82
ControlCenter2 とは	83
ControlCenter2 の基本操作	83
使用できる機能	84
ControlCenter2 を起動する	85
スキャン	86
カスタム	88
コピー	90
PC-FAX	91
デバイス設定	92
第 6 章 付 録	93
エラーメッセージが表示されたとき	94
故障かな? と思ったときは	94
使用環境	95
コンピュータ環境 [Windows®]	95
索引	97

プリンタとして使う

■ プリンタとして使用する前に	11
ドライバをインストールする	11
プリンタとしての特長	12
■ 印刷する	13
郵便はがきに印刷する	14
セキュリティ印刷をする	15
印刷テストをする	16
プリント設定の初期化	17
色補正をする	18
操作パネルを使用して印刷をキャンセルする	19
■ 印刷状況を確認する (ステータスマニタ)	20
ステータスマニタを起動する	20
本機の状態を確認する	21
■ プリンタドライバの設定をする	22
■ ドライバでの設定内容	23
[基本設定]タブでの設定項目	23
[拡張機能]タブでの設定項目	26
[オプション]タブでの設定項目	40
[サポート]タブでの項目	41

プリンタとして使用する前に

ドライバをインストールする

本機をプリンタとして使用するには、付属の CD-ROM 中にあるプリンタドライバをインストールする必要があります。CD-ROM 中には、Windows® 98/98SE/Me/2000/XP、Windows NT®4.0対応のプリンタドライバが用意されています。これらのドライバは、Windows®に簡単にインストールでき、印刷方向や用紙のカスタムサイズの設定等ができます。コンピュータとの接続やドライバのインストール方法については、 **かんたん設置ガイド P.21** を参照してください。

プリンタとしての特長

本機は、高品質のレーザープリンタとしての特長を備えており、ファクスの送受信中やスキャン中でもコンピュータからのデータを印刷することができます。

ネットワーク環境では、ネットワークプリンタとして使用できます。

以下に、プリンタとしての特長を説明します。

● ハイスピード印刷

1分間に最高8枚のフルカラー印刷／31枚のモノクロ印刷ができます。(印刷する内容によって異なります。)

● 2400dpi クラス出力

普通紙に2400dpiクラスの解像度で印刷します。

● 双方向パラレルインターフェース (IEEE1284) に対応

本機の平行ポートはコンピュータとの双方向通信に対応します。


● USB(Universal Serial Bus) に対応

Hi-Speed USB 2.0に対応します。

● 多彩な記録紙対応


本機は普通紙、OHPフィルムおよびはがきなどに対応します。

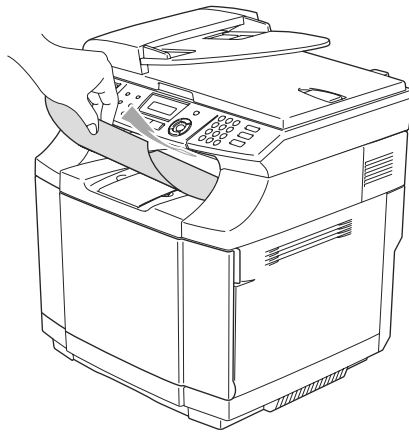
● ネットワークプリント

ネットワーク環境では、ネットワークプリンタとして使用できます。詳しくは、 ネットワーク設定ガイド(PDF版) **P.56**

P.66 を参照してください。


補足

- 解像度などの設定については **P.26** を参照してください。
- 記録紙についての詳細は、 ユーザーズガイド (印刷版) **P.23** を参照してください。
- 印刷された記録紙は前面の排紙トレイに出てきます。



- 本機がコンピュータからのデータを印刷中でもコピー操作はできますが、コピーを開始するのはコンピュータの印刷終了後です。また、コンピュータから印刷中にファクスを受信すると、コンピュータの印刷終了後にファクス受信の記録が行われます。ファクス送信は、印刷中でも継続されます。

注意

- ご使用のソフトウェアの種類やコンピュータの環境によっては、本機で印刷できない場合もあります。
- 用紙を再度挿入する前に、用紙をまっすぐに伸ばさないと紙づまりが発生することがあります。
- 非常に薄い用紙や非常に厚い用紙の使用はお勧めしません。セットできる記録紙の種類については、 ユーザーズガイド (印刷版) **P.24** を参照してください。

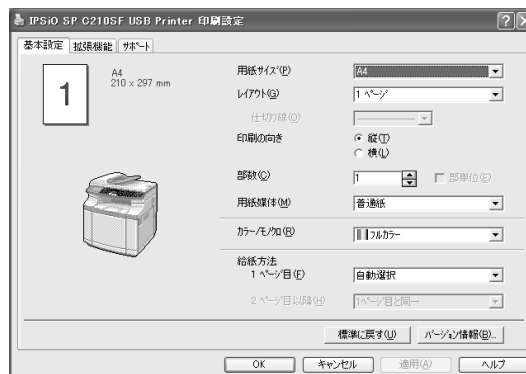
印刷する

1

アプリケーションソフトの [ファイル] メニューから [印刷] を選択する

2

[印刷] ダイアログボックスの中で本機のプリンタ名を選択し、[プロパティ] をクリックする



3

用紙サイズや向きなどの印刷設定を行い、[OK] をクリックする

4

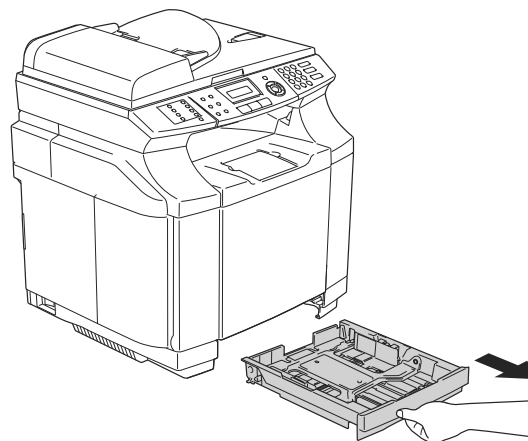
[印刷] ダイアログボックスにて [OK] をクリックする
印刷を開始します。

郵便はがきに印刷する

郵便はがきを印刷するときは、記録紙トレイにはがきアダプタを取り付けてから印刷してください。

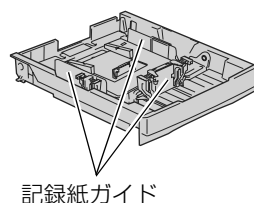
はがきアダプタの取付方法

1 記録紙トレイを完全に引き出す



2 はがきアダプタ裏面のフックを記録紙トレイに引っ掛けるようにして取り付ける

3 記録紙ガイドをつまみながらスライドしてはがきアダプタを固定する



4 郵便はがきをセットする

5 記録紙トレイを本機に戻す

注意

■はがきアダプタにセットできるはがきの枚数は 25 枚までです。26 枚以上セットしないでください。紙づまりや給紙ミスの原因になります。


セキュリティ印刷をする



コンピュータから本機に機密書類の印刷データが送られてきた場合、受信して即印刷すると、プリンタの近辺にいる人に見られてしまう可能性があります。そのような場合は、コンピュータ側のプリンタドライバでパスワードを設定します。詳しくは、**P.32** を参照してください。



パスワードが設定されていると、本機は印刷データを受信しても、プリンタの操作パネル上でパスワードが入力されるまで印刷を行いません。データはプリンタの電源をオフにすると消失します。


パスワードを入力して印刷後、データはメモリーからクリアされます。

データ受信後の印刷は、以下の操作で行います。

1  **セキュリティ** を押す

2  を押してユーザーを選択し、 を押す

3  を押して印刷データを選択し、 を押す

4 4桁のパスワードを入力し、 を押す

5  を押して「プリント」を選択し、 を押す
印刷をしないでデータを削除する場合は、 を押して「ショウキョ」を選択し、 を押してください。

印刷テストをする


印刷テストを行い、本機の印刷品質を確認することができます。



1

 を押す

選択メニューが表示されます。


2



 を押す

 で選択して  で決定することも可能です。

▲▼テンタク/セットボタン
4. プリンタ

3

 を押す

 で選択して  で決定することも可能です。

プリンタ
1. テスト プリント

4

モノクロスタート または カラースタート  を押す

テストプリントが印刷されます。

テスト プリント
スタートボタン オス

5

 を押して操作を終了する

プリント設定の初期化

現在のプリント設定をすべて初期化することができます。



1

 を押す

選択メニューが表示されます。

2



④ を押す

 で選択して  で決定することも可能です。

▲▼テンタク/セットボタン
4. プリンタ

3

② を押す

 で選択して  で決定することも可能です。

プリンタ
2. プリンタ リセット

4

① を押す

プリント設定が初期化されます。

プリンタ リセット
1. リセット 2. キャンセル

5

「シヨキカチュウ」の表示が終了後、 を押して操作を終了する

色補正をする

印刷時の色を補正することができます。


温度や湿度といった使用環境によって、印刷時の色のバランスが違ってきた場合、色補正を行うとバランスを調整することができます。



1

 を押す

選択メニューが表示されます。


2

 を押す

 で選択して  で決定することも可能です。

▲▼デセンタク/セットボタン
4. プリンタ


3

 を押す

 で選択して  で決定することも可能です。

プリンタ
3. イロホセイ

4

 を押して「イロホセイ」を選択する

「リセット」を選択すると、お買い上げ時の設定に戻ります。

イロホセイ
イロホセイ

5

 を押す

6

 を押す

イロホセイ
1. スル 2. シナイ

7

「オマチクダサイ」の表示が消え色補正が終了後、 を押して操作を終了する

操作パネルを使用して印刷をキャンセルする

本機内のメモリーに蓄積されている印刷用データの消去および印刷中のジョブをキャンセルします。



本機のメモリーに残るデータおよび印刷中のデータをクリアします。

1

キャンセル を押す

メモリー内のデータが消去されます。

印刷状況を確認する（ステータスマニタ）

ご使用のコンピュータからステータスマニタで本機の印刷状況や記録紙の有無などを確認できます。

ステータスマニタを起動する

1

【スタート】メニューの【すべてのプログラム】 - 【RICOH】 - 【ドライバ&ソフトウェア SP C210SF】 - 【ステータスマニタ】 - 【IPSiO SP C210SF USB Printer】の順に選択する
ステータスマニタウインドウが表示されます。



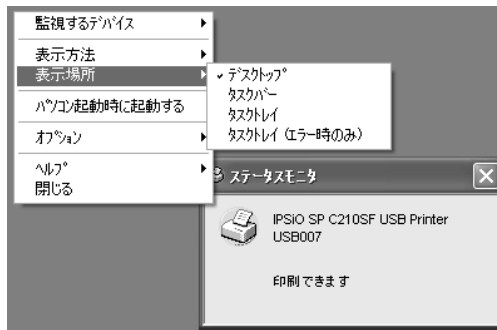
2

ステータスマニタウインドウ上で右クリックし、メニューから【パソコン起動時に起動する】をクリックしてチェックする



3

ステータスマニタウインドウ上で右クリックし、メニューから【表示場所】を選択してチェックする
ステータスマニタアイコンが選択した表示場所に表示されます。




補足


- ステータスマニタアイコンを右クリックしても手順2~3の操作が可能です。
- 【パソコン起動時に起動する】のチェックをはずすと、プリンタドライバの「拡張機能」タブでステータスマニタがオンになっていてもステータスマニタは表示されません。

本機の状態を確認する


ステータスマニタアイコンの色で本機の状態を見分けることができます。


● **緑色のアイコン** 

本機は正常に動作しています。

● **黄色のアイコン** 

本機は警告状態です。

● **赤色のアイコン** 

本機に何らかのエラーが発生しています。エラーが発生しているときは、本機の状態を確認してください。問題が解決しないときは、 ユーザーズガイド（印刷版）**P.152** を参照してください。

プリンタドライバの設定をする

プリンタドライバは、本機をプリンタとして使用するときに必要なソフトウェアです。プリンタドライバは、CD-ROMに収録されています。

ここでは、プリンタドライバの機能について説明します。表示される画面はご使用のOSにより異なります。プリンタドライバの機能の詳細は、プリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。

本機でコンピュータから印刷する際にプリンタドライバで各種の設定をすることができます。

1 アプリケーションソフトの [ファイル] メニューから [印刷] を選択する

2 [印刷] ダイアログボックスの中で本機のプリンタ名を選択し、[プロパティ] をクリックする

3 各項目を設定する

- 設定内容の詳細は **P.23** を参照してください。



4 [OK] をクリックする

[印刷] ダイアログボックスに戻ります。

補足

- お買い上げ時の設定に戻す場合は、手順3で[標準に戻す]をクリックしてから[OK]をクリックします。

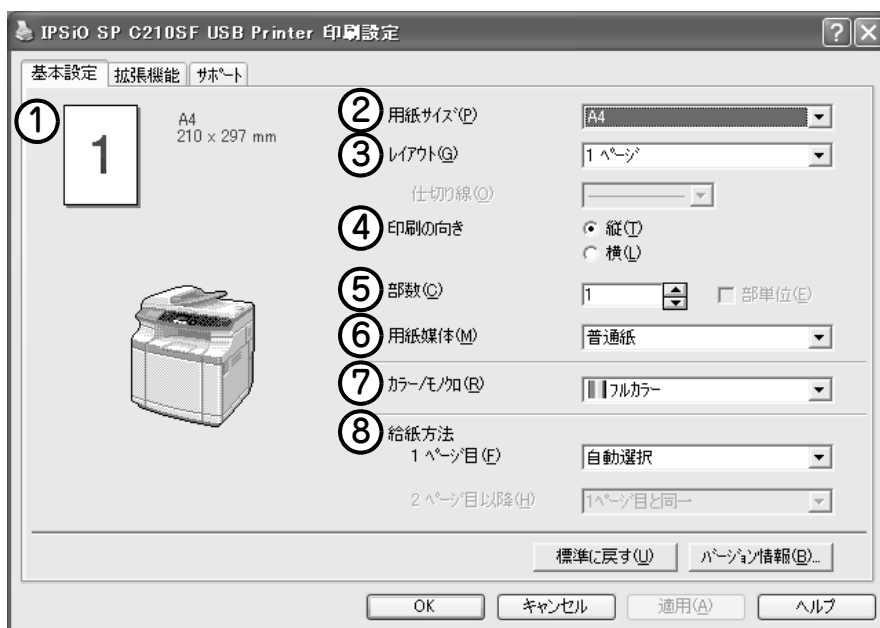
ドライバでの設定内容

プリンタドライバで変更できる設定項目について説明します。

プリンタドライバで設定できる項目は、OS が異なっても基本的に同じです。ただし、お使いのOSによっては利用できない項目があります。

お使いのアプリケーションソフトに類似した機能がある場合は、両方の設定が有効となりますので、同時に使用しないでください。

[基本設定]タブでの設定項目



設定後[OK]をクリックして、選択した設定を確定します。

標準設定に戻すときは[標準に戻す]をクリックします。

① 現在の設定状態

この部分には、用紙サイズ、レイアウト、印刷の向き、拡大縮小、部数、部単位など、現在の設定状態が表示されます。

② 用紙サイズ

プルダウンメニューから、使用する[用紙サイズ]を選択します。

- A4
- レター
- リーガル
- A5
- B5
- ハガキ
- 洋形4号
- 洋形最大
- ユーザー定義...
- A3
- B4

<ユーザー定義サイズ>

本機は下記の範囲内で、任意の用紙サイズを印刷することができます。

最小 100×210ミリメートル (3.94×8.27インチ)

最大 215.9×355.6ミリメートル (8.5×14インチ)

このオプションでは特定の大きさの用紙を次の方法で登録できます。

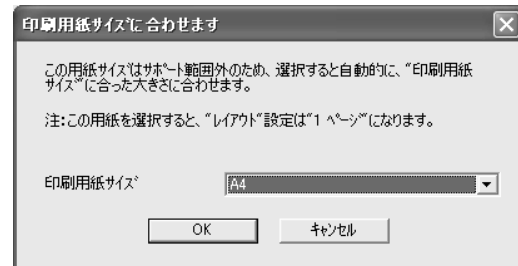
- 1 使いたい用紙のサイズを計ります。
- 2 用紙サイズで[ユーザー定義...]を選びます。
- 3 カスタム用紙サイズ名ボックスに用紙サイズ名を入力します。
- 4 単位はミリメートルかインチが選びます。
- 5 長さとは幅を指定します。
- 6 保存ボタンを押して用紙サイズを記憶します。必要ならば削除ボタンを押してあらかじめ登録してある用紙サイズを削除できます。



<印刷用紙サイズに合わせます>

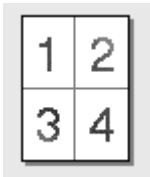
[用紙サイズ]から[A3]または[B4]を選択すると、右のダイアログボックスが表示されます。

本機で対応していない用紙サイズ (A3、B4) を仮想の用紙サイズとして選択可能にしています。これらの用紙サイズは、ダイアログボックスの[印刷用紙サイズ]で印刷可能サイズに変換して印刷します。



③ レイアウト

イメージのサイズを縮小して複数のページを1枚の用紙に印刷したり、イメージのサイズを拡大して1枚のページを複数の用紙に印刷できます。



例: 4枚を1ページに縮小印刷



例: 1枚を4ページに拡大印刷

仕切り線

[レイアウト]機能で複数のページを1枚の用紙に印刷する場合、各ページを仕切る線を「———」(実線)、「- - - - -」(破線)、「なし」から選択できます。

④ 印刷の向き

文書を印刷する向き (縦または横) を選択します。


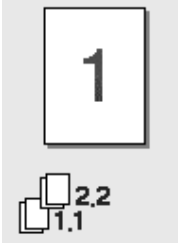
縦選択時	横選択時

⑤ 部数

印刷する部数を設定します。

部単位

複数の部数が選択されている場合に、この項目が有効になります。[部単位]のチェックボックスをチェックすると、文書全体が1部印刷されてから、選択した部数だけ印刷が繰り返されます。[部単位]チェックボックスが未チェックの場合は、文書の各ページが設定された部数分だけ印刷されてから、次のページが印刷されます。

部単位チェックボックスがチェック	部単位チェックボックスが未チェック
	

⑥ 用紙媒体

使用する用紙のタイプを選択します。用紙の種類にあった用紙媒体を選択することによって、印刷品質が向上します。

- 普通紙
- 普通紙 (厚め)
- 厚紙 (ハガキ)
- 超厚紙
- OHP
- 再生紙

市販されている薄めの普通紙やコピー用紙を使用している場合は、[普通紙]を選択します。

市販されている普通紙やコピー用紙を使用している場合は、[普通紙 (厚め)]を選択します。

ハクリ紙、郵便はがきなど厚めの用紙を使用している場合は、[厚紙 (ハガキ)]を選択します。[厚紙 (ハガキ)]を選択して印刷したときにトナーの付きが悪い場合は、[超厚紙]を選択します。

OHPフィルムには[OHP]を選択します。

再生紙には[再生紙]を選択します。

⑦ カラー／モノクロ

カラー印刷またはモノクロ印刷を選択します。

- フルカラー フルカラーで印刷する場合に選択します。
- モノクロ モノクロで印刷する場合に選択します。
- ブラック & シアン ブラックおよびシアントナーのみを使用して文書を印刷する場合に選択します。
- ブラック & マゼンタ ブラックおよびマゼンタトナーのみを使用して文書を印刷する場合に選択します。
- ブラック & イエロー ブラックおよびイエロートナーのみを使用して文書を印刷する場合に選択します。

⑧ 給紙方法

オプションの「記録紙トレイ#2」(LT-27CL)を装着しているときは、1ページ目と2ページ目以降で給紙方法を切り替えることができます。

1ページ目に使用するトレイを選択します。

- 自動選択
- トレイ1
- トレイ2 (オプション)

2ページ目以降で使用するトレイを選択します。

- 1ページ目と同一
- トレイ1
- トレイ2 (オプション)

[拡張機能]タブでの設定項目

タブの設定を変更するには、画面の中のいずれかのアイコンを選択します。

注意

■Windows®のプリンタ共有機能を使って印刷する場合、ご使用のOSの種類や組み合わせなどの環境によっては、拡張機能が使用できない場合があります。

印刷品質



① 印刷品質

記録紙や原稿、使用目的に合わせて解像度を選択します。

- 標準 (600×600 dpi)
- きれい (2400 dpi 相当)

② カラー設定

記録紙や原稿、使用目的に合わせてカラーモードを選択します。

画面に近い色合い	鮮やかな色合い	自動切り換え	なし

- グレーの印刷を改善する
グレーの部分の印刷に他の色要素が加わり、満足な印刷結果が得られない場合はこの機能を設定します。
- 黒色を強調して印刷する
黒部分に十分な濃度の印刷結果が得られない場合は、この機能を設定します。
黒部分に全トナーを使用して印刷します。

③ 設定 ...

明るさ、コントラスト等、さらに色合いを調節したい場合は、[設定...]をクリックして調整項目画面を表示させます。



● 明るさ

スクロールバーを右へ移動させ数字を増やすと、より明るくなった印刷結果が得られます。

数字を減らすと、より暗くなった印刷結果が得られます。

● コントラスト

スクロールバーを右へ移動させ数字を増やすと、コントラストが強くなり、暗い部分はより暗く、明るい部分はより明るく印刷されます。

数字を減らすとコントラストが弱くなり、暗い部分と明るい部分の差が少なくなった印刷結果が得られます。

● 赤

赤の色要素を増減させた印刷結果が得られます。

赤が弱くなると、シアンが強くなります。

● 緑

緑の色要素を増減させた印刷結果が得られます。

緑が弱くなると、マゼンタが強くなります。

● 青

青の色要素を増減させた印刷結果が得られます。

青が弱くなると、イエローが強くなります。

● 彩度

スクロールバーを右へ移動させ数字を増やすと、より際立った色の印刷結果が得られます。

数字を減らすと、鮮やかさのない印刷結果となります。

両面印刷

手動両面印刷の設定ができ、6種類の綴じ方や綴じしろの設定ができます。



① 手動両面印刷

チェックボックスをチェックすると、はじめに偶数番号のページ（裏面）を印刷します。その後、プリンタがいったん停止し、偶数ページ（裏面）が印刷された用紙の再セットを促す指示メッセージが表示されます。メッセージの指示にしたがって用紙を再セットし、[OK]ボタンをクリックすると、奇数番号のページ（表面）の印刷を開始します。

② 綴じ方

印刷の向き、縦または横など6種類の綴じ方から選択します。

左綴じ	上綴じ	上綴じ（反転なし）
右綴じ	下綴じ	下綴じ（反転なし）

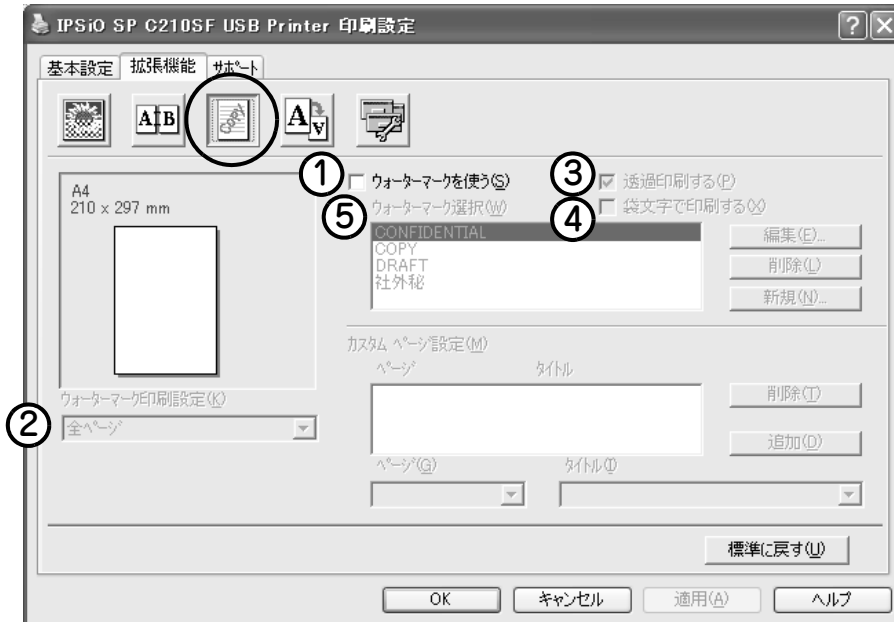
③ 綴じしろ

チェックボックスをチェックすると、綴じ側の量をインチ（0～8インチ）またはミリメートル（0～203.2mm）で設定できます。

ウォーターマーク

ロゴや本文をウォーターマーク（透かし絵）として文書に入れることができます。あらかじめ設定されたウォーターマークの一つを選択するか、作成済みのビットマップファイル、またはテキストをウォーターマークとして新規に登録して使うことができます。

[ウォーターマークを使う]をチェックして、使いたいウォーターマークを選択してください。



① ウォーターマークを使う

チェックボックスをチェックすると、ウォーターマークの選択ができます。

② ウォーターマーク印刷設定

以下に示す選択項目があります。

- 全ページ
- 開始ページのみ
- 2ページ目から
- カスタム

③ 透過印刷する

チェックボックスをチェックすると、ページ上の文書に対し透過してウォーターマークが印刷されます。

④ 袋文字で印刷する (Windows® 2000 Professional/XP、Windows NT® 4.0)

チェックボックスをチェックすると、ウォーターマークが袋文字で印刷されます。

⑤ ウォーターマーク選択

選択したウォーターマークが左のプレビュー画面に表示されます。

ウォーターマーク印刷設定として[全ページ]、[開始ページのみ]、[2ページ目から]を選択した場合、指定のページにはここで選択したウォーターマークが印刷されます。

● ウォーターマーク設定

ウォーターマークを選択し、[編集]ボタンを押すと、選択したウォーターマークの設定情報が表示されます。

また、これらの設定値はすべて変更することができます。

新しいウォーターマークを追加したい場合は、[新規]ボタンをクリックし、[スタイル]および[スタイル]の[文字を使う]または[ビットマップを使う]を選択し、その他所定の情報を設定します。



① 位置

ページ上の透かし絵を配置する位置を設定します。

② タイトル

設定した透かし絵のタイトルを設定します。ここで設定したタイトルは、[ウォーターマーク選択]に表示されます。

③ スタイル

新しく追加する透かし絵が、文字かビットマップかを選択します。

④ ウォーターマーク文字

透かし絵の文字を[表示内容]ボックスに入力して、フォント、サイズ、スタイル、カラーを選択します。

⑤ ウォーターマークビットマップ

[ファイル]ボックスにビットマップイメージのファイル名を入力するか、[参照]ボタンをクリックして、ビットマップファイルを指定します。

⑥ 拡大・縮小

イメージのサイズを設定します。

ページ設定

拡大縮小機能を使用して文書の印刷サイズを変更できます。



① 拡大・縮小

文書を画面に表示されたとおりに印刷する場合は、[オフ]をチェックします。文書のサイズが特別な場合や、標準サイズの用紙しかない場合は、[印刷用紙サイズに合わせます]をチェックして、用紙サイズを選択します。

印刷出力を拡大や縮小する場合は、[任意倍率]をチェックして、倍率を指定します。

② 左右反転 / 上下反転

[左右反転]機能や[上下反転]機能をページの設定に使用することもできます。

その他特殊機能

[その他の特殊機能]で各機能を設定できます。

補足

- お使いのアプリケーションソフトによって設定できる内容が異なります。

● セキュリティ印刷

セキュリティ印刷をする場合のパスワードを設定します。パスワードが設定されていると、本機は印刷データを受信しても、プリンタの操作パネル上でパスワードが入力されるまで印刷を行いません。セキュリティ印刷の詳細についてはP.15を参照してください。



①[セキュリティ印刷]のチェックボックスをチェックして、ユーザー名とパスワードを入力します。本機に転送した印刷データを削除する場合も、ここで設定したパスワードで削除します。

● トナー節約モード

[オン]を選択することで、印刷密度を下げて、ランニングコストを抑えることができます。(拡張機能の印刷品質で「きれい(2400dpi相当)」を選択した場合は操作できません。)



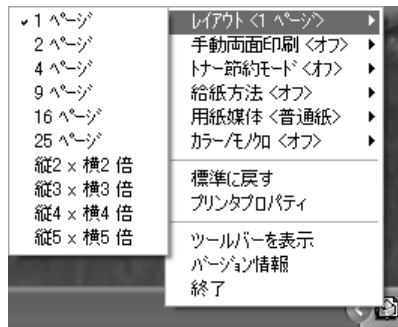
● クイックプリントセットアップ

ドライバの設定を素早く選択できます。



①クイックプリントセットアップ オン/オフ

クイックプリントセットアップを[オン]にすると、ドライバ設定をすばやく選択することができます。タスクトレイのアイコン上でマウスボタンをクリックするだけで、設定を確認できます。



● ステータスマニタ

印刷時の本機の状態を確認できます。



①ステータスマニタ オン / オフ

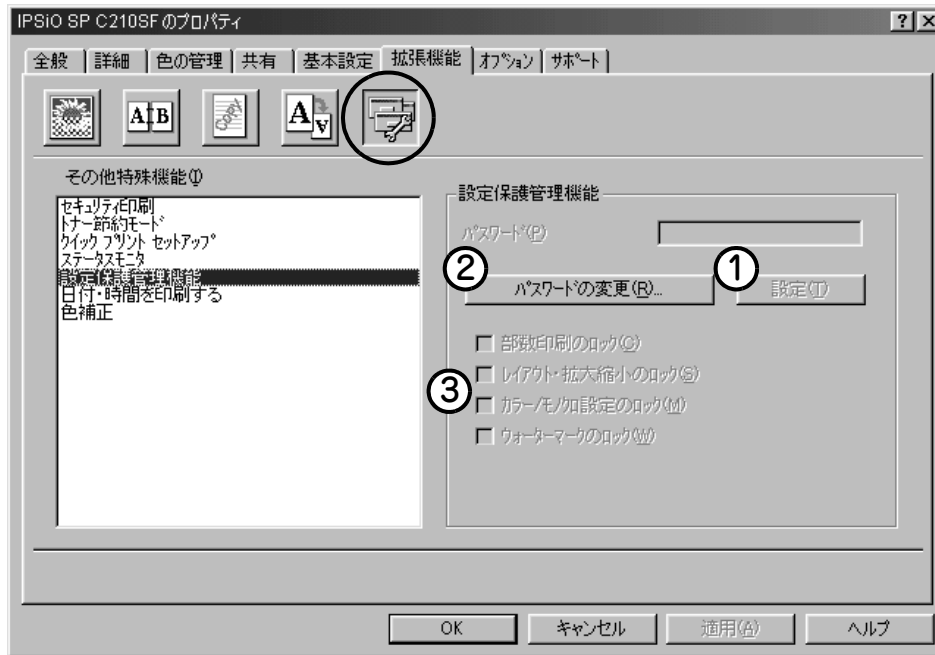
ステータスマニタを[オン]にすると、印刷時の本機の状態を確認することができます。本機の状態を確認する必要がなく印刷の速度を上げたい場合は、ステータスマニタを[オフ]にしてください。

補足

- ステータスマニタの設定で [コンピュータ起動時に起動する] がオンになっていないと、ステータスマニタは表示されません。詳しくは **P.20** を参照してください。

● 設定保護管理機能 (Windows® 98/98SE/Me のみ)

パスワードで設定をロックすることができます。



① 設定ボタン

登録したパスワードを入力し [設定] をクリックすると、各保護対象機能のチェックボックスがグレー表示から解除されます。

② パスワードの変更ボタン

パスワードを変更したいとき、または初めてパスワードを設定する場合は、このボタンをクリックしてパスワードの設定ダイアログボックスを開きます。

③ 保護対象機能

チェックボックスをチェックすると、[部数印刷のロック]、[レイアウト・拡大縮小のロック]、[カラー/モノクロ設定のロック]、[ウォーターマークのロック]機能をロックしてパスワードで保護することができます。(パスワード設定時のみ)

● 印刷設定 (Windows® 2000/XP、Windows NT® 4.0 のみ)

グラフなどパターンが含まれる図形において、印刷されたパターンがPCの画面上に表示されたものよりも細かい場合は、「パターン印刷を改善する」チェックボックスをチェックすることで改善される場合があります。

アプリケーションによっては、このチェックボックスをチェックしても拡大しない場合があります。



● 日付・時間を印刷する

[印刷する] チェックボックスをチェックすると、印刷した日付と時間が設定したフォーマットで文章に印刷されます。



① 詳細設定ボタン

日付と時間の設定をするには、[印刷する]チェックボックスをチェックし、[詳細設定]ボタンをクリックします。[日付・時間]ダイアログボックスが表示されます。



印刷モード、日付と時間の書式、位置、フォントを設定します。
 背景を日付と時間に含めるときは、[上書き印刷する]を選択します。
 [上書き印刷する]が選択されると、日付と時間の[背景色]を設定できます。

● 色補正

本機に接続して色補正に必要なデータを取得し、印刷時の色を補正します。



①接続器の測定情報を取得する

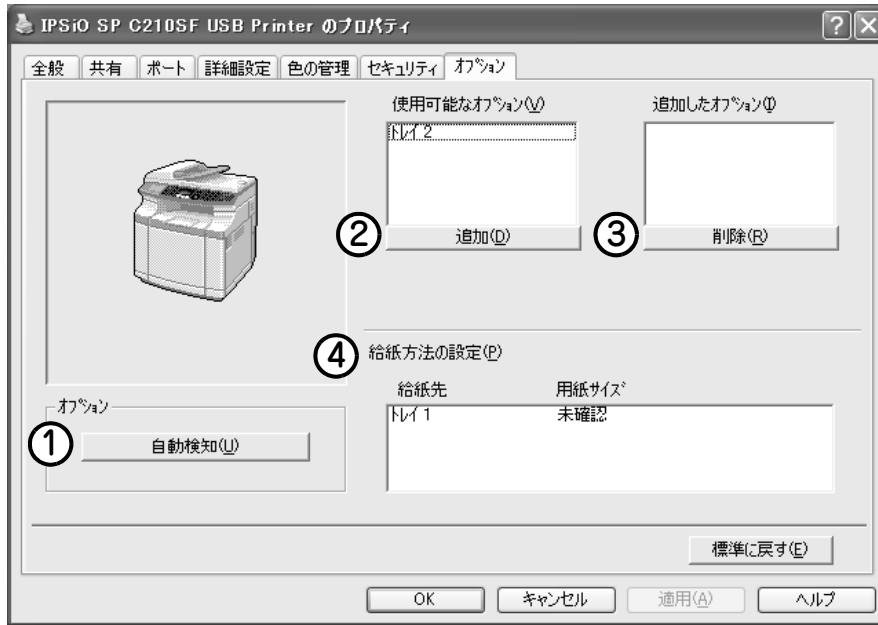
このボタンをクリックすると、本機に接続して色補正に必要な測定情報を取得します。

②取得した情報で補正する

測定情報を取得すると、自動的にこのチェックボックスがチェックされます。測定情報を使用しないで印刷する場合は、このチェックボックスからチェックをはずしてください。

[オプション]タブでの設定項目

オプションの「記録紙トレイ#2」（500枚増設トレイユニット タイプ2500）を装着し、使用可能にするには、ドライバにそのオプションをインストールする必要があります。オプションタブでは、プリンタに装着されたオプションやそれぞれの給紙先に入れられた用紙サイズの情報を設定します。これらの設定情報は、プリンタドライバの機能に反映されます。



① 自動検知

プリンタに装着されているオプションや給紙先の用紙サイズ設定情報を取得して、オプション設定を自動的に行います。同時に、画面には[記録紙トレイ#2]が設置された本機のイラストが表示されます。

補足

- 自動検知による設定情報の取得は、プリンタドライバが選択している印刷先のポートにプリンタが接続され、かつ双方向通信が働く状態であることが必要です。

② 追加

使用可能なオプションのリストから追加するオプションを選択して、追加ボタンをクリックします。

③ 削除

追加したオプションのリストから削除するオプションを選択して、削除ボタンをクリックします。

④ 給紙方法の設定

各給紙先に対して設定されている用紙サイズの情報を表示します。

[サポート]タブでの項目

ドライババージョンと設定情報が示されています。
サポートタブをクリックすると、次の画面が表示されます。



① 設定の確認


クリックすると、現在の基本的なドライバ設定の一覧が表示されます。

スキャナとして使う

- スキャナとして使う前に 43
 ドライバをインストールする必要があります 43
- スキャナとして使う 44
 スキャンボタンを利用する 44
 TWAINドライバを使ってスキャンする (Windows® 98/98SE/Me/2000/XP、Windows NT® 4.0) 49
 WIAドライバを使ってスキャンする (Windows® XPのみ) 53

スキャナとして使う前に

ドライバをインストールする必要があります

本機をスキャナとして使用する場合は、付属のCD-ROMに収録されているドライバをインストールする必要があります。「かんたん設置ガイド」に従ってインストールしてください。詳しくは、かんたん設置ガイド P.21 を参照してください。

補足

- 付属のCD-ROMに収録されている「Presto!® PageManager®」は、Windows NT®には対応していません。
- 「Presto!® PageManager®」に関する詳細は、ソフトウェアに付属の電子マニュアルを参照してください。なお、テクニカルサポートに関する情報は以下のとおりです。

ニューソフトジャパン株式会社 東京都港区新橋6-21-3
 ニューソフトカスタマーサポートセンター
 Tel : 03-5472-7008、Fax : 03-5472-7009
 受付時間 : 10 : 00 ~ 12 : 00、13 : 00 ~ 17 : 00
 (土曜、日曜、祝祭日を除く)
 電子メール : support@newsoft.co.jp
 ホームページ : http://www.newsoft.co.jp/


- TWAIN とは、スキャナなどの画像入力デバイス用の関数 (API) や手続きの集合体です。多くのスキャナやグラフィックソフトウェアがTWAINに対応しています。「WIA (Windows Image Acquisition)」はWindows®でデジタルカメラやスキャナなどからUSBなどを通して画像を取り込むためのものです。WIAはWindows® Meから採用された新しい機能なので、古い機種やソフトウェアなどとは対応していないことがあります。

スキャナとして使う


スキャンボタンを利用する

インストールしたソフトの中で、以下の機能は操作パネル上の  を押してスキャンモードにして使用します。

- スキャンEメール
- スキャンイメージ
- スキャンOCR
- スキャンファイル

 を使用するには、あらかじめ本機をインターフェースケーブルでコンピュータに接続しておく必要があります。

補足

- ソフトが自動的に起動しないとき
Windows® 2000/XP は、「コントロールパネル」→「スキャナとカメラ」→「IPSiO SP C210SF」のプロパティ→「イベント」で、すべてのイベント（ボタン）にControlCenter2を指定します。
- ネットワーク接続をしているとき
本機をネットワークにつないでお使いの場合は、 ネットワーク設定ガイド（PDF版）P.92 を参照してください。

スキャンEメール

この機能は、スキャン画像をEメールで送る機能です。いったんコンピュータに送ってからコンピュータのメーラー（電子メールを扱うソフトウェア）で送信する方法と、本機で直接メールアドレスを指定して送信する方法があります。ここでは、スキャンしたモノクロまたはカラー原稿を、添付ファイルとしてEメールに取り込む方法を説明します。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 を押す

スキャン：▲▼テンタク

3 を押して「スキャン Eメール」を選択する

▲▼テンタク/セットホタン
スキャン Eメール

4 を押す

- USBまたはパラレルケーブルのどちらかが1つで接続されている場合は、コンピュータへスキャンを開始します。
- USBおよびパラレルケーブルの両方で接続されている場合は、〈USB〉または〈パラレル〉のどちらかを選択します。


PC セツゾク チュウ

スキャン Eメール
〈USB〉



スキャン Eメール
〈パラレル〉

補足

- スキャンされた原稿が添付ファイルとして保存されます。ControlCenter2で設定されているメールソフトが起動し、メッセージが表示されるので宛先のメールアドレスを入力します。
-  を使ってスキャンするときの設定は、ControlCenter2から変更できます。詳しくは **P.87** を参照してください。
- ファイルはビットマップ(*.BMP)、JPEG(*.JPG)、TIFF(*.TIF)、PNG(*.PNG)、PDF(*.PDF)のいずれかの形式で保存できます。

スキャンイメージ

カラー写真のスキャン画像を、グラフィックアプリケーションに取り込んで表示したり修正することができます。

1

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2

 を押す

スキャン：▲▼テンタク

3

 を押して「スキャン イメージ」を選択する

▲▼テンタク/セットボタン
スキャン イメージ

4

 を押す

- USBまたはパラレルケーブルのどちらか1つで接続されている場合は、コンピュータへスキャンを開始します。
- USBおよびパラレルケーブルの両方で接続されている場合は、〈USB〉または〈パラレル〉のどちらかを選択します。

PC セツゾク チュウ

スキャン イメージ
〈USB〉



スキャン イメージ
〈パラレル〉

補足

- ControlCenter2 で設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。詳しくはP.87を参照してください。

スキャンOCR

原稿が文字テキストであれば、Presto!® PageManager® を使って自動的に編集可能なテキストファイルに変換することができます。

1

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2

 を押す

スキャン：▲▼テンタク

3

 を押して「スキャン OCR」を選択する

▲▼テンタク/セットボタン
スキャン OCR

4

 を押す

- USBまたはパラレルケーブルのどちらか1つで接続されている場合は、コンピュータへスキャンを開始します。
- USBおよびパラレルケーブルの両方で接続されている場合は、〈USB〉または〈パラレル〉のどちらかを選択します。

PC セツゾク チュウ

スキャン OCR
〈USB〉



スキャン OCR
〈パ ラレル〉

補足

- Presto!® PageManager® が起動され、画像データにOCR（光学的手法による文字認識）の処理を実行します。認識処理後、テキストデータに変換された文書を編集・修正することができます。

スキャンファイル

モノクロまたはカラー原稿をスキャンしてコンピュータの指定先フォルダに保存することができます。保存の際のファイル形式および保存先フォルダの設定は、ControlCenter2で行います。詳しくは、P.87 を参照してください。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 を押す

スキャン：▲▼テン センタク

3 を押して「スキャン ファイル」を選択する

▲▼テン センタク/セットホ タン
スキャン ファイル

4 を押す

- USBまたはパラレルケーブルのどちらか1つで接続されている場合は、コンピュータへスキャンを開始します。
- USBおよびパラレルケーブルの両方で接続されている場合は、〈USB〉または〈パラレル〉のどちらかを選択します。

PC セツゾク チュウ

スキャン ファイル
〈USB〉



スキャン ファイル
〈パ ラレル〉

補足

- 保存されるファイル形式や保存先フォルダ、ファイル名の初期設定は以下のとおりです。

- 保存先フォルダ

マイドキュメント\マイピクチャ ¥Control Center 2¥Scan

マイピクチャフォルダがない場合は、「マイドキュメント ¥Control Center 2 ¥Scan」となります。

- ファイル形式

JPG

- ファイル名

CCFyyyymmdd_XXXXX

yyyy：西暦

mm：月

dd：日

XXXXX：通し番号

- ファイルはビットマップ (*.BMP)、JPEG (*.JPG)、TIFF (*.TIF)、PNG (*.PNG)、PDF (*.PDF) のいずれかの形式で保存できます。

TWAINドライバを使ってスキャンする(Windows® 98/98SE/Me/2000/XP、Windows NT® 4.0)

本機のドライバはTWAIN対応です。ドライバにより、TWAIN対応の他のアプリケーション（「Presto!® PageManager®」や「Adobe® Photoshop®」など）で、画像を直接スキャンできます。ここでは、「Presto!® PageManager®」でスキャンする場合について説明します。TWAIN対応の他のアプリケーションから直接原稿をスキャンするときも、手順は同様です。

注意

■あらかじめ、「Presto!® PageManager®」を起動させ、[ファイル]メニューの[TWAIN対応機器の選択...]で、接続している機器の機種名（Windows® XPの場合：TW-Ricoh xxxx、その他の場合：Ricoh xxxx）を選択しておきます。

1

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合、複数の原稿をセットすることでまとめてスキャンすることができます。

2

Presto!® PageManager® 画面から をクリックする

TWAIN ダイアログボックスが表示されます。詳しくは **P.50** を参照してください。

3

必要に応じて TWAIN ダイアログボックスで以下の項目を設定する


- 解像度
- 色数
- 明るさ など

4

[スキャン開始] ボタンをクリックする

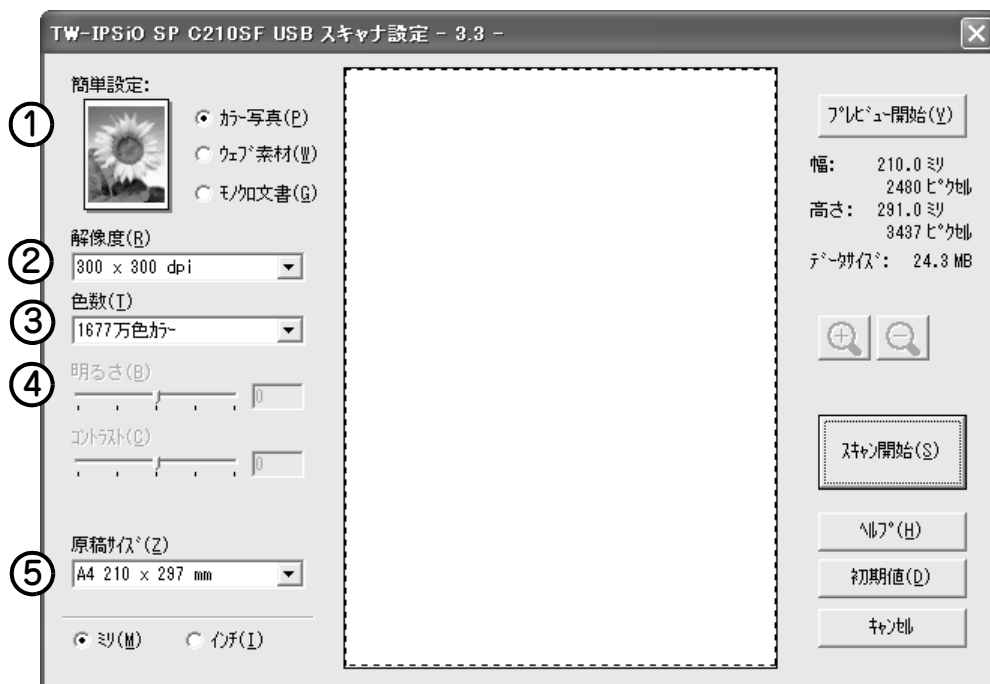
スキャンが終了したら [キャンセル] ボタンをクリックして Presto!® PageManager® 画面に戻ります。

補足

- 「Presto!® PageManager®」の操作の詳細については、「Presto!® PageManager® ユーザーズマニュアル」をお読みください。ユーザーズマニュアルは、[スタート]メニューから [すべてのプログラム(プログラム)] - [Presto!® PageManager® 6] - [Presto!® PageManager® 6.10 ユーザーズマニュアル] を選ぶと表示されます。
- 付属のCD-ROMに収録されている「Presto!® PageManager®」は、Windows NT®には対応していません。
- ドライバのインストール方法については  かんたん設置ガイド **P.21** を参照してください。
- 操作の詳細については、Presto!® PageManager®の電子マニュアル（PDF形式）をご覧ください。

● TWAIN ダイアログボックスでの設定 (Windows® 98/98SE/Me/2000/XP、Windows NT® 4.0)

TWAINダイアログボックスで設定できる項目について、以下に説明します。



① 簡単設定 (イメージタイプ)

- カラー写真：写真の場合に選択します。
- ウェブ素材：ホームページに使用する場合に選択します。
- モノクロ文書：文書の場合に選択します。

② 解像度

解像度のプルダウンメニューからスキャンする解像度を選択します。解像度を高くすると必要なメモリーや読取時間が増えますが、スキャンされた画像の質は向上します。
 選択できる解像度と指定可能な色数の対応は以下のとおりです。

解像度	白黒／グレー／ 256階調グレー	256色 カラー	1677万色カラー
100×100dpi	○	○	○
150×150dpi	○	○	○
200×200dpi	○	○	○
300×300dpi	○	○	○
400×400dpi	○	○	○
600×600dpi	○	○	○
1200×1200dpi	○	×	○
2400×2400dpi	○	×	○
4800×4800dpi	○	×	○
9600×9600dpi	○	×	○

③ 色数

モノクロ

テキストや線画の場合に設定します。

グレースケール

写真画像の場合にグレー、または256階調グレーに設定します。

カラー

256色カラー、または1677万色カラーのいずれかを選択します。

④ 明るさ／コントラスト

必要に応じてマウスでつまみを左右にドラッグして、明るさやコントラストを調節してください。

⑤ 原稿サイズ

以下のいずれかのサイズを設定します。

- A4 210×297mm
- B5 (JIS) 182×257mm
- レター 215.9×279.4mm (8.5×11 in)
- リーガル 215.9×355.6mm (8.5×14 in)
- A5 148×210mm
- エクゼクティブ 184.1×266.7mm (7.25×10 1/2 in)
- 名刺 90×60mm
- ポストカード 10×15cm (4×6 in)
- インデックスカード 127×203.2mm (5×8 in)
- L判 89×127mm
- 2L判 127×178mm
- ハガキ 100×148mm
- 往復ハガキ 148×200mm
- ユーザー定義サイズ...

[ユーザー定義サイズ...]を選択した場合は、右の画面が表示されます。
[幅]と[高さ]を入力します。



補足

- 1677万色カラーは最適な色で画像を作成できますが、作成した画像ファイルのデータ容量は、256色カラーを使用した場合の3倍ほどになります。
- ユーザー定義サイズを選択した後でも、スキャンの範囲をさらに調整できます。左マウスボタンを使って、スキャン範囲の点線をドラッグします。この作業はスキャンするときに画像を切り取るために必要です。
- 名刺をスキャンするには、名刺サイズ（90×60mm）の設定を選択し、原稿台ガラスにセットしてください。
- ワープロアプリケーション、グラフィックアプリケーション上で使用される写真や、その他の画像をスキャンする場合は、濃度・モード・画質の設定を調整して、どの設定が最適か判断してください。
- 必要以上に解像度を高く設定すると、データ容量も取り込み時間も増大します。適切な解像度を選択してください。
- ユーザー定義サイズは、8.9×8.9mmから215.9×355.6mmまで調整できます。

プレビューで画像を調整する (Windows® 98/98SE/Me/2000/XP、Windows NT® 4.0)

プレビューは、低い画質ですばやく画像をスキャンし、確認できる機能です。画像のサムネイルがスキャンエリアに表示され、どのようにスキャンされるのか確認できます。

1 ADF (自動原稿送り装置) または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 [プレビュー開始] ボタンをクリックする

全原稿がコンピュータにスキャンされると TWAIN ダイアログボックスのスキャンエリアに表示されます。

注意

■ ADF (自動原稿送り装置) をお使いの場合は、[プレビュー開始] ボタンをクリックした時点で原稿を排出してしまうため、再度セットしてから[スキャン開始]ボタンをクリックする必要があります。

3 スキャンされた原稿の一部分を切り取るには、左マウスボタンを使ってスキャンエリアの点線の側面か端をドラッグする

点線を調整してスキャンしたい部分を囲みます。

4 必要に応じて TWAIN ダイアログボックスの解像度、色数、明るさの設定を調整する

5 [スキャン開始] ボタンをクリックする

選択された範囲だけが Presto!® PageManager® 画面に表示されます。

6 Presto!® PageManager® 画面上で画像を調整する

補足

- [プレビュー開始] ボタンを使用して画像をプレビューし、画像の不要部分を切り取ります。プレビューのとおりであれば、スキャナ画面から[スキャン開始]ボタンをクリックして画像をスキャンします。



スキャン範囲

WIAドライバを使ってスキャンする (Windows® XPのみ)

本機のドライバはWIA対応です。ドライバにより、TWAIN または WIA 対応の他のアプリケーション（「Presto!® PageManager®」や「Adobe® Photoshop®」など）で、画像を直接スキャンできます。

原稿台ガラスに原稿をセットしてスキャンするときは、以下の手順で操作します。ここでは、「Presto!® PageManager®」でスキャンする場合について説明します。

注意

- あらかじめ、「Presto!® PageManager®」を起動させ、[ファイル]メニューの[TWAIN対応機器の選択...]で、接続している機器の機種名（WIA-Ricoh xxxx）を選択しておきます。

1

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合、複数の原稿をセットすることでまとめてスキャンすることができます。

2

Presto!® PageManager® 画面から をクリックする

WIA ダイアログボックスが表示されます。詳しくは **P.54** を参照してください。

3

給紙方法を選択する

[フラットベット]を選択した後、「プレビュー」機能を利用してスキャンする範囲を調整することができます。

4

必要に応じて WIA ダイアログボックスで以下の項目を設定する


- 解像度
- 明るさ
- 画像の種類 など

5

[スキャン] ボタンをクリックする

スキャンが終了したら [キャンセル] ボタンをクリックして Presto!® PageManager® 画面に戻ります。

補足

- 「Presto!® PageManager®」の操作の詳細については、「Presto!® PageManager® ユーザーズマニュアル」をお読みください。ユーザーズマニュアルは、[スタート]メニューから [すべてのプログラム(プログラム)] - [Presto!® PageManager® 6] - [Presto!® PageManager® 6.10 ユーザーズマニュアル] を選ぶと表示されます。
- ドライバのインストール方法については  かんたん設置ガイド **P.21** を参照してください。
- 操作の詳細については、Presto!® PageManager®の電子マニュアル（PDF形式）をご覧ください。

● WIA ダイアログボックスでの設定



① 給紙方法

[フラットベッド]は原稿台ガラスからスキャンするとき、[ドキュメントフィーダ]はADF（自動原稿送り装置）からスキャンするときに選択します。

② スキャンする画像の種類を選択します。

③ スキャンした画像の品質の調整

ここをクリックすると、[詳細プロパティ]ウィンドウが表示されます。



④ 明るさ / コントラスト

必要に応じてマウスでつまみを左右にドラッグして、明るさやコントラストを調節してください。

⑤ 解像度

プルダウンメニューから解像度を選択します。解像度を高くすると必要なメモリーや読取時間は増えますが、画質は向上します。[100] [150] [200] [300] [400] [500] [600] [1200]の中から選択します。

⑥ 画像の種類

[カラー画像] [グレースケール画像] [白黒画像またはテキスト]の中から選択します。

補足

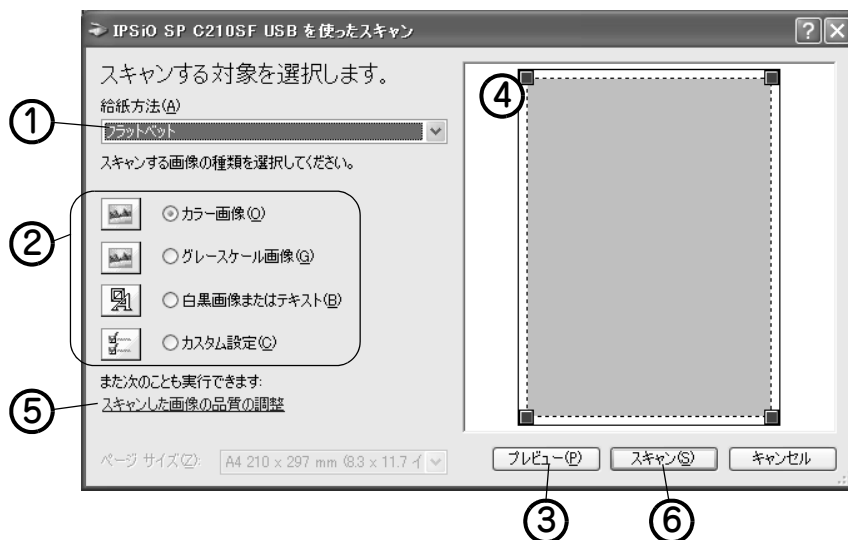
● Windows® XP で、2400/4800/9600dpi の解像度を有効にするときは、「スキャナユーティリティ」を使って設定を変更します。（元に戻すこともできます。）「スキャナユーティリティ」は以下の方法で起動します。

- ① [スタート]メニューから [すべてのプログラム(プログラム)] - [RICOH] - [ドライバ&ソフトウェア SP C210SF] - [スキャナ設定] - [スキャナユーティリティ] の順に選択します。
「スキャナユーティリティ」が起動します。

※アプリケーションによっては、1200dpi以上の解像度でのスキャンに対応していないことがあります。

● プレビューで画像を調整する

プレビューは、低い画質ですばやく画像をスキャンし、確認できる機能です。画像のサムネイルがスキャンエリアに表示され、どのようにスキャンされるのが確認できます。



1 原稿の表側を下にして、原稿台ガラスに置く

2 [給紙方法] のプルダウンメニューから [フラットベッド] (①) を選択する

3 画像の種類を選択する (②)

4 スキャンダイアログボックスの [プレビュー] ボタン (③) をクリックする
原稿全体がコンピュータにスキャンされ、ダイアログボックスのスキャンエリアに表示されます。

5 (④) のウィンドウにてマウスの左ボタンを押しながらマウスをドラッグし、取り込みたい部分を指定する

6 詳細設定が必要な場合は、[スキャンした画像の品質の調整] (⑤) をクリックする
詳細プロパティ画面が表示され、「明るさ」「コントラスト」「解像度」「画像の種類」が選択できます。設定が終了したら [OK] を押します。詳細プロパティ画面については **P.54** を参照してください。

7 スキャンダイアログボックスの [スキャン] ボタン (⑥) を押す
元画像中、選択された部分だけが取り込まれ、Presto!® PageManager® 画面 (あるいはアプリケーションソフトの画面) に表示されます。

リモートセットアップ

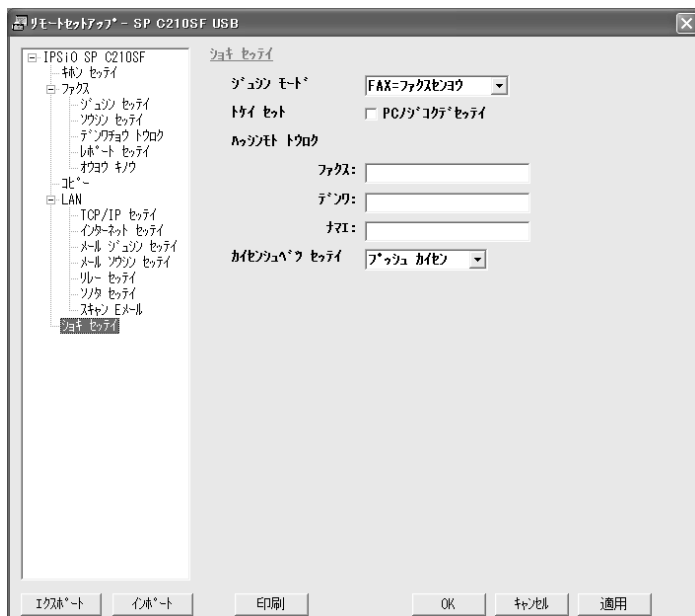
■ リモートセットアップについて	57
リモートセットアップを起動する	57
■ リモートセットアップ設定内容	58
ボタンの説明	58
設定できる項目	59
電話帳登録をする	62

リモートセットアップについて

通常、本機に対する機能設定は操作パネル上のナビゲーションボタンとダイヤルボタンで行いますが、リモートセットアップを使用すると、本機に対する機能設定をコンピュータで簡単に行うことができます。

リモートセットアップを起動する

リモートセットアップを起動するには、[スタート]メニューから、[すべてのプログラム(プログラム)]-[RICOH]-[ドライバ&ソフトウェア SP C210SF]-[リモートセットアップ]の順に選択します。



リモートセットアップを起動すると、画面の左側に、機能の分類が表示されます。この分類は、機能一覧のメインメニューに対応しています。詳しくは、[ユーザーズガイド（印刷版）P.174](#)を参照してください。

機能の分類をクリックすると、画面の右側に設定可能な項目が表示されますので、必要に応じて、データを入力したりプルダウンメニューから選択することができます。

起動した直後は、本機に設定されている内容が自動的にコンピュータにダウンロードされ、画面上に表示されます。

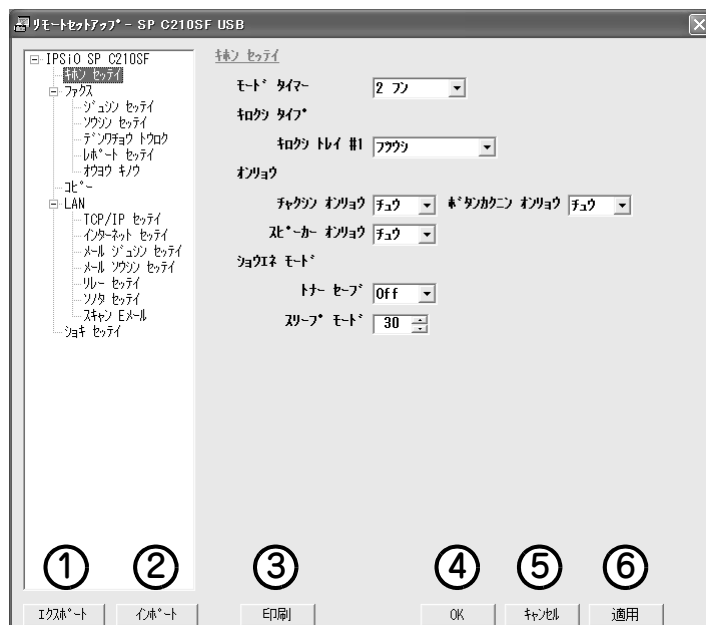
補足

- 本機に設定されている内容のダウンロードには、数分間かかることがあります。
- リモートセットアップを使用するには、お使いのコンピュータに Ricoh ドライバ & ソフトウェアをインストールする必要があります。インストールのしかたについては、[かんたん設置ガイド P.21](#)を参照してください。
- リモートセットアップで設定した内容は、次に変更するまで有効です。
- PC-FAX受信ソフトウェアが起動しているとリモートセットアップは使用できません。
- ネットワークケーブルで接続されているコンピュータからは、リモートセットアップを使用できません。
- ウイルスバスター™などのセキュリティ保護機能を持つソフトウェアが起動している場合、リモートセットアップ機能を使用できないことがあります。リアルタイム検索機能を「OFF」にするかセキュリティ保護機能を一時的に停止すると使用できるようになることがあります。操作のしかたはお使いのセキュリティ保護ソフトウェアの説明書をご覧ください。

リモートセットアップ設定内容

ボタンの説明

リモートセットアップの画面のボタンについて説明します。



① エクスポート

現在の設定内容をファイルに保存します。

② インポート

ファイルに保存されている設定内容を読み込みます。

③ 印刷

「デンワチョウ トウロク」を表示しているときには、「電話帳リスト」を印刷します。その他の設定を表示しているときには、「設定内容リスト」を印刷します。(ユーザーズガイド (印刷版) P.107 と同じリストを印刷します) ただし、本機に送信されるまで印刷できないため、[適用]をクリックして新しいデータを送信してから、[印刷]をクリックしてください。

④ OK

設定した内容を本機に送信するとともに、リモートセットアップを終了します。送信の際に、エラーメッセージが表示された場合は、正しいデータを再度入力して、[OK]をクリックします。

⑤ キャンセル

設定した内容を本機に送信しないで、リモートセットアップを終了します。

⑥ 適用

設定した内容を本機に送信しますが、リモートセットアップは終了しません。

補足

- エクスポート、インポートの機能を使うと、本機の設定をファイルに保存して設定内容を読み込むことができます。
- すべての設定内容を保存するには、画面左側の機能の分類の一番上にある IPSiO SP C210SF を選択してエクスポートをクリックします。
- 機能の分類の中から機能のトップ項目 (例: ファクス) を選択した場合は、ファクスに関するすべての設定が保存されます。

設定できる項目

リモートセットアップで設定できる項目の一覧を以下に示します。

分類	中分類	項目	設定の可否
シヨキ セッテイ	ジュシン モード	-	○
	トケイ セット	-	○
	ハッシンモト トウロク	ファクス/デノウ/ナマエ	○
	カイセンシュバツ セッテイ	-	○
	トクベツカイセン タイオウ	-	×
	ダイヤルトーン セッテイ	-	×
	ナンバー ディスプレイ	-	×
	ヒョウジ ゲンゴ	-	×
キホン セッテイ	モード タイマー	-	○
	キロクシ タイプ	-	○
	オンリョウ	チャクシン オンリョウ	○
		ボタンカクニン オンリョウ	○
		スピーカー オンリョウ	○
	ショウエネ モード	トナー セーブ	○
		スリープ モード	○
	ガメンノ コントラスト	-	×
	セッテイロック	-	×
トレイ センタク:コピー※	-	×	
トレイ センタク:ファクス※	-	×	

※オプションの記録紙トレイ2（500枚増設トレイユニット タイプ2500）を増設したときにメニューが表示されます。

分類	中分類	項目	設定の可否
ファクス	ジュシン セッテイ	ヨビダシ カイスウ	○
		サイヨビダシ カイスウ	○
		シンセツ ジュシン	○
		リモート ジュシン	○
		ジドウ シュクショウ	○
		インサツ ノウド	○
		ポーリング ジュシン	×
		ソウシン セッテイ	ゲンコウ ノウド
	ソウシン セッテイ	ファクス ガシツ	○
		タイマー ソウシン	×
		トリマトメ ソウシン	○
		リアルタイム ソウシン	○
		ポーリング ソウシン	×
		ソウフショ	○
ソウフショ コメント		○	
カイガイソウシン モード		×	
デワチョウ トウロク		デワチョウ/ワンタッチ	○
		デワチョウ/タンシュク	○
	デワチョウ/グループ	○	
レポート セッテイ	ソウシン レポート	○	
	ツウシン カンリ カンカク	○	
オウヨウ キノウ	テンソウメモリージュシン	○	
	アンショウバンゴウ	○	
	ファクス シュツリョク	×	
ツウシン マチ カクニン	-	×	
アンシン ツウシン モード	-	×	
コピー	コピー ガシツ	-	○
	アカルサ	-	○
	コントラスト	-	○
	カラーチョウセイ	レッド/グリーン/ブルー	○
レポート インサツ	ソウシン レポート	-	×
	キノウアンナイ	-	×
	デワチョウ リスト	-	×
	ツウシン カンリ レポート	-	×
	セッテイナイヨウ リスト	-	×
	LANセッテイナイヨウリスト	-	×
	チャクシンリレキ リスト	-	×

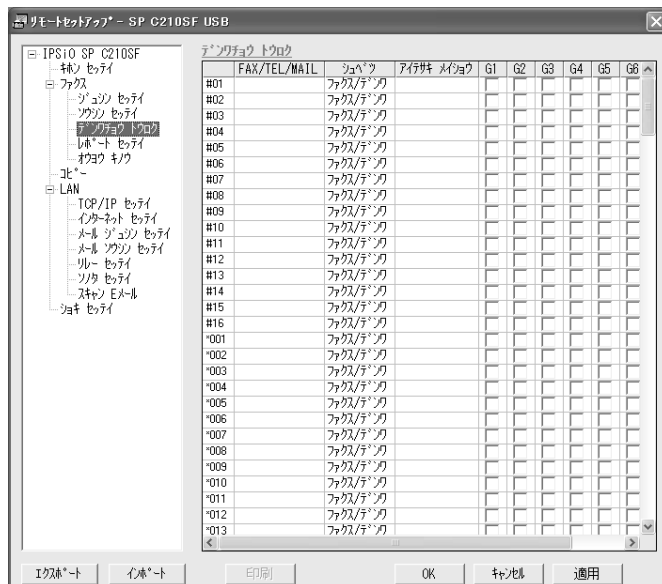
分類	中分類	項目	設定の可否
LAN	TCP/IP セットイ	IP シュトク ホウホウ	○
		IP アドレス	○
		サブネット マスク	○
		ゲートウェイ	○
		ノード メイ	○
		WINS セットイ	○
		WINS サーバ	○
		DNS サーバ	○
		APIPA	○
	インターネット セットイ	メール アドレス	○
		SMTP サーバ	○
		POP3 サーバ	○
		アカウント メイ	○
		パスワード	○
	メール ジュシン セットイ	ジドウ ジュシン	○
		ポーリング カンカク	○
		ヘッダ インサツ	○
		エラー メール サクジョ	○
		ジュシン カクニン	○
	メール ソウシン セットイ	メール タイトル	○
		サイズ セイゲン	○
		ジュシンカクニンヨウキュウ	○
	リレー セットイ	リレー キョカ	○
		キョカ ドメイン	○
		リレー レポート	○
	ソノタ セットイ	イーサネット	○
		タイム ゾーン	○
	スキャン Eメール	モノクロ ファイルタイプ	○
		カラー ファイルタイプ	○
		LANセットイ リセット	-
セイヒン ジョウホウ	シリアル No.	-	×
	インサツマイスウ ヒョウジ	-	×
	ショウモウヒン ジュミョウ	-	×
	リセットメニュー	-	×

補足

●各項目の内容と選択項目については、ユーザーズガイド（印刷版）P.171 を参照してください。

電話帳登録をする

リモートセットアップの操作の例として、電話帳登録をする場合について説明します。
画面の左側の機能分類から「デンワチョウ トウロク」をクリックすると、次の画面が表示されます。



この画面で、電話番号と相手先名称を登録することができます。

- ・ワンタッチダイヤル：最大16件（1～16）
- ・短縮ダイヤル：最大200件（001～200）

電話番号は20桁まで登録できます（カッコは使用できません）。
また、相手先名称は15桁まで入力できます。

● 電話帳に短縮ダイヤルを登録する

相手先の電話番号、ファクス番号、またはメールアドレスと名称を、3桁の短縮番号（最大200件）に登録します。

- 1 左側から「デンワチョウ トウロク」を選ぶ
- 2 登録する短縮番号の行にある「FAX/TEL/MAIL」に電話番号、ファクス番号またはメールアドレスを入力する
- 3 種別で「ファクス/デンワ」または「Eメール アドレス」を選ぶ
- 4 「アイテサキ メイショウ」に相手先の名前を入力する
- 5 グループダイヤルに登録する場合は、登録先のグループ番号のチェックボックスを ON にする
例) グループ3に登録する場合は、「G3」を ON にします。
- 6 [OK] をクリックする
・設定した内容が本機に送信され、リモートセットアップが終了します。

● 電話帳にグループダイヤルを登録する

複数の送信先をグループとして指定しておく、一度の操作でグループに登録された相手先にファクスを送ることができます。グループは8つまで登録できます。



1 左側から「デンワチョウ トウロク」を選ぶ

電話帳登録の画面が表示されます。



2 種別でグループを選ぶ

グループ番号は「1～8」から選びます。
例) ここでは「グループ2」を選びます。



3 「アイテサキ メイショウ」にグループ名を入力する



4 グループに登録するメンバーのグループ番号のチェックボックスをONにする

例) グループ2に登録する場合は、「G2」をONにします。



5 [適用] をクリックする

・グループダイヤルが登録されます。

PC-FAX

■ PC-FAXを使用する前に	65
個人情報を設定する	65
送信の設定	66
■ ファクスを送信する	67
ファクススタイル画面を使用してファクス送信する	67
シンプルスタイル画面を使用してファクス送信する	69
■ アドレス帳を利用する	70
アドレス帳を設定する	70
アドレス帳に相手先を登録する	71
ワンタッチダイヤルに相手先を登録する	72
登録した相手先をワンタッチダイヤルから削除する	73
同報送信用グループダイヤルに送信先メンバーを登録する	74
アドレス帳の相手先またはグループ情報を修正する	75
アドレス帳の相手先またはグループを削除する	76
アドレス帳をエクスポートする	77
アドレス帳にインポートする	78
送付書を作成する	79
■ ファクスを直接コンピュータに取り込むための設定	80
本機の設定をする	80
[PC-FAX受信]を起動する	80
[PC-FAX受信]の設定をする	80
新規PC-FAX受信したメッセージを確認する	81

PC-FAXを使用する前に

PC-FAXを利用すると、コンピュータ上のアプリケーションで作成した印刷データをファクスとして送信することができます。また、送付書を添付して送付することもできます。

あらかじめ、PC-FAXのアドレス帳に相手先を登録しておくことで、ファクスの宛先として設定できます。**P.71** を参照してください。

ファクススタイル画面とシンプルスタイル画面のどちらかを選択することができます。**P.66** を参照してください。

補足

- 送信を行う前に個人情報、アドレス帳を設定しておくくと便利です。
- Windows® 2000/XPをお使いの方はアドミニストレータ (Administrator) 権限で使用してください。

個人情報を設定する

ファクスのヘッダーと送付書に使用される個人情報を設定します。設定は、[PC-FAX設定]ダイアログボックスの[個人情報]タブで行います。

1 [スタート]メニューから、[すべてのプログラム (プログラム)] - [RICOH] - [ドライバ&ソフトウェア SP C210SF] - [PC-FAX 送信] - [PC-FAX 設定] の順に選択する

2 個人情報を入力する

PC-FAX 設定

個人情報 | 送信 | アドレス帳 | ワンタッチダイヤル (ファクススタイル選択時のみ)

名前(N):

会社名(C):

部署(D):

電話番号(E):

FAX 番号(F):

E-mail(E):

住所1 (1):

住所2 (2):

OK キャンセル

3 [OK] をクリックする
個人情報が保存されます。

PC-FAX 設定

個人情報 | 送信 | アドレス帳 | ワンタッチダイヤル (ファクススタイル選択時のみ)

名前(N):

会社名(C):

部署(D):

電話番号(E):

FAX 番号(F):

E-mail(E):

住所1 (1):

住所2 (2):

OK キャンセル

送信の設定

ファクス送信に関する設定を行います。
設定は、[PC-FAX 設定]ダイアログボックスの[送信]タブで行います。



① ダイヤル設定

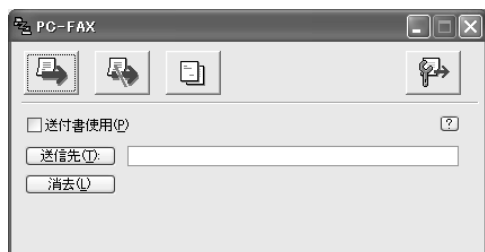
外線への接続に必要な番号を入力します。この番号は、PBX等の内線接続で必要になる場合があります。電話機を単独で使用している回線へ接続する場合は、入力する必要はありません。

② ヘッダー

送信するファクスの先頭にヘッダー情報を追加する場合は、このボックスをチェックします。

③ 送信操作画面

[シンプルスタイル]が[ファクススタイル]のどちらかを選択できます。



<シンプルスタイル>



<ファクススタイル>

④ ネットワーク PC-FAX

PC-FAX機能を使ってメールアドレスにファクス送信するときは、[使用する]をチェックしておく必要があります。

ファクスを送信する

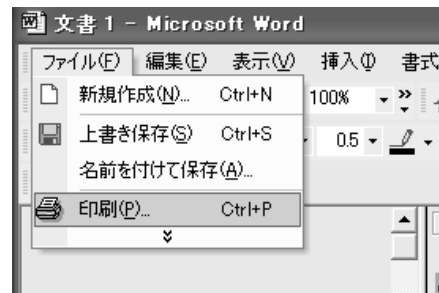
ファクススタイル画面を使用してファクス送信する

1

コンピュータ上のアプリケーションでファイルを作成する

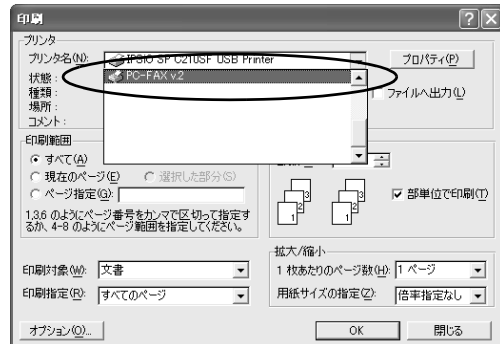
2

[ファイル]メニューから[印刷]を選択する



3

プリンタ名の▼から [PC-FAX v.2] を選択して、[OK] をクリックする



4

以下のいずれかの方法でファクス番号を入力する

- ダイヤルパッドをクリックして番号を入力する。
- 10個のワンタッチダイヤルボタンのいずれかをクリックする。
- [アドレス帳]ボタンをクリックし、アドレス帳から送付先を選択する。
- Outlook Expressのアドレス帳のデータを利用することもできます。**P.70**を参照してください。



5

[送信] をクリックする
ファクス送信が開始されます。

補足

- ファクススタイル画面を使用してファクス送信する場合は、[PC-FAX 設定] ダイアログボックスの[送信]タブで「ファクススタイル」を選択しておく必要があります。
- ファクススタイル画面のボタンについて以下に説明します。



①送付書使用

ファクスに送付書とコメントを付けて送信する場合にクリックします。

②送付書の作成

送付書の内容を入力したり変更する場合にクリックします。**P.79**を参照してください。

③消去

ファクス番号を間違えて入力したときにクリックします。

④再ダイヤル

ファクスを再送する場合にクリックします。[再ダイヤル]ボタンを押すたびに最新のものからさかのぼって5件表示されます。再送したいファクス番号が表示されたら、[送信]ボタンをクリックします。

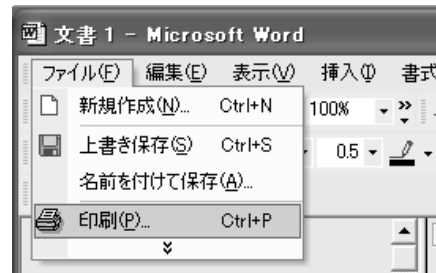
シンプルスタイル画面を使用してファクス送信する

1

コンピュータ上のアプリケーションでファイルを作成する

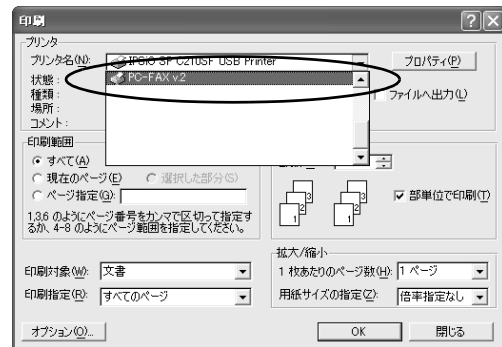
2

[ファイル]メニューから[印刷]を選択する



3

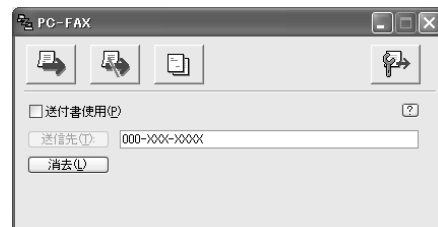
プリンタ名の▼から[PC-FAX v.2]を選択して、[OK]をクリックする



4

[送信先]に、相手のファクス番号を入力する

- 相手のファクス番号は、[送信先]ボタンをクリックしてアドレス帳から選択することもできます。
- Outlook Expressのアドレス帳のデータを利用することもできます。**P.70**を参照してください。



5


送付書とコメントを付けてファクスを送信する場合は、[送付書使用]の設定を選択する
送付書の作成については**P.79**を参照してください。

6

 をクリックする

ファクス送信が開始されます。

補足

- シンプルスタイル画面を使用してファクス送信する場合は、[PC-FAX 設定] ダイアログボックスの[送信]タブで「シンプルスタイル」を選択しておく必要があります。
- 相手のファクス番号は、[送信先]ボタンをクリックしてアドレス帳から選択することもできます。
- ファクス番号を間違えて入力したときには、[消去]ボタンをクリックします。
-  をクリックすると、送付書の内容を入力したり変更することができます。

アドレス帳を利用する

アドレス帳を設定する

相手先のファクス番号をPC-FAXアドレス帳に登録しておく、送信先を簡単に指定できます。ここでは、使用するアドレス帳を設定します。

補足

- 「PC-FAX アドレス帳」をご利用の場合は、あらかじめアドレス帳を作成しておく必要があります。**P.71**を参照してください。

設定は、[PC-FAX設定]ダイアログボックスの[アドレス帳]タブで行います。

1

[スタート]メニューから、[すべてのプログラム(プログラム)] - [RICOH] - [ドライバ&ソフトウェア SP C210SF] - [PC-FAX 送信] - [PC-FAX 設定] の順に選択する
「PC-FAX 設定」の画面が表示されます。

2

[アドレス帳] タブをクリックし、アドレス帳に関する設定をする

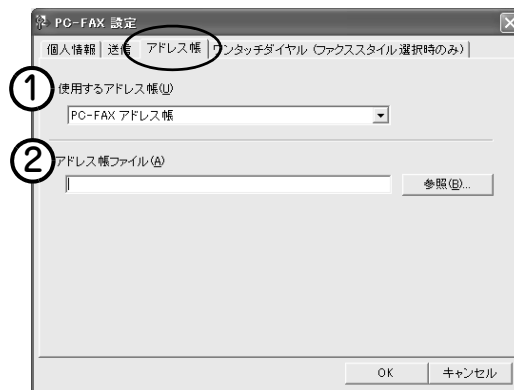
①使用するアドレス帳

送信先を設定したり、ワンタッチダイヤルの設定をするときに使用するアドレス帳を選びます。

通常は「PC-FAX アドレス帳」を選びますが、OutlookExpress のアドレス帳を利用する場合は、「OutlookExpress アドレス帳」を選びます。

②アドレス帳ファイル

ファイルのパスと名前を入力するか、[参照] をクリックしてファイルを選びます。



3

[OK] をクリックする

PC-FAX で使用するアドレス帳が設定されます。

アドレス帳に相手先を登録する

相手先の登録は、[PC-FAXアドレス帳]ダイアログボックスで行います。

1

[スタート]メニューから、[すべてのプログラム] - [RICOH] - [ドライバ&ソフトウェア SP C210SF] - [PC-FAX 送信] - [PC-FAX アドレス帳] の順に選択する
右の画面が表示されます。



2

 をクリックする

右の画面が表示されます。

PC-FAX アドレス帳 メンバー設定

名前: 敬称:

会社名:

部署: 役職:

国/地域: 郵便番号:

都道府県: 市町村:

番地:

勤務先電話番号: 自宅電話番号:

ファクス: 携帯電話:

E-Mail:

決定 キャンセル

3

メンバーの情報を入力する

[名前]の入力は必須です。

PC-FAX アドレス帳 メンバー設定

名前: 敬称:

会社名:

部署: 役職:

国/地域: 郵便番号:

都道府県: 市町村:

番地:

勤務先電話番号: 自宅電話番号:

ファクス: 携帯電話:

E-Mail:

決定 キャンセル

4

[決定] をクリックする

メンバーの情報が保存されます。

補足

- 登録情報を追加、編集、削除する場合も、[PC-FAXアドレス帳]ダイアログボックスで行います。
- アドレス帳には3000件までのデータを登録することが可能です。

ワンタッチダイヤルに相手先を登録する

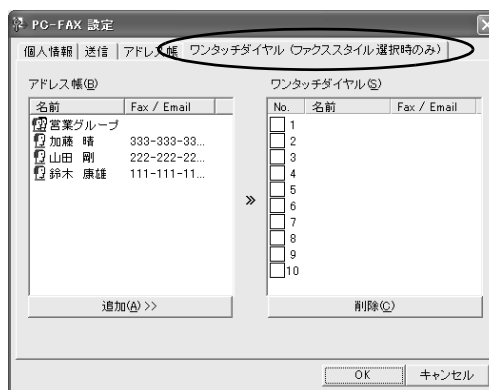
メンバーまたはグループを10個のワンタッチダイヤルボタンに登録できます。登録しておく、ワンタッチダイヤルボタン（1から10のいずれか）を押すだけで、ワンタッチで送信先を指定することができます。

1

[スタート]メニューから、[すべてのプログラム(プログラム)] - [RICOH] - [ドライバ&ソフトウェア SP C210SF] - [PC-FAX送信] - [PC-FAX設定]の順に選択する

2

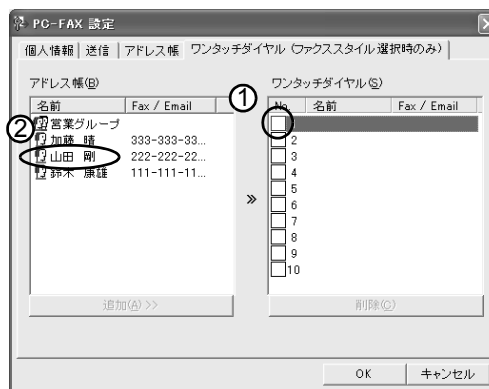
[PC-FAX設定]ダイアログボックスの[ワンタッチダイヤル]タブをクリックする



3

[ワンタッチダイヤル]ボックスの番号をクリックする (①)

続けて、[アドレス帳]ボックスから、この番号に登録するメンバーまたはグループをクリックする (②)



4

[追加(A)>>]をクリックする

登録したいワンタッチダイヤルについて、手順3、4の操作を繰り返します。

5

[OK]をクリックする

ワンタッチダイヤルの設定がアドレス帳に保存されます。

登録した相手先をワンタッチダイヤルから削除する

1

[ワンタッチダイヤル] ボックスから、削除する相手先またはグループをクリックする

2

[削除] をクリックする

補足


- ワンタッチダイヤルを使用するには、[送信]ダブの[送信操作画面]で「ファクススタイル」を選択する必要があります。

同報送信用グループダイヤルに送信先メンバーを登録する

同一の原稿を複数の相手に繰り返し送信する場合は、複数のメンバーをグループにまとめることができます。同報送信は、1回の操作で1つのグループダイヤルのみ選択することができます。

1

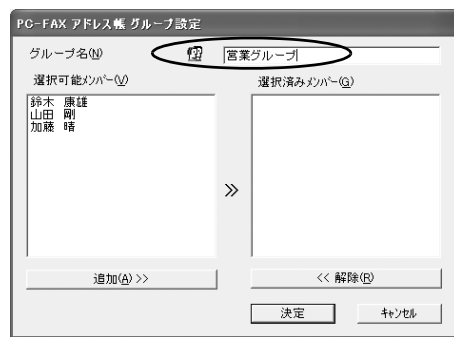
[PC-FAX アドレス帳] ダイアログボックスで、

 をクリックする



2

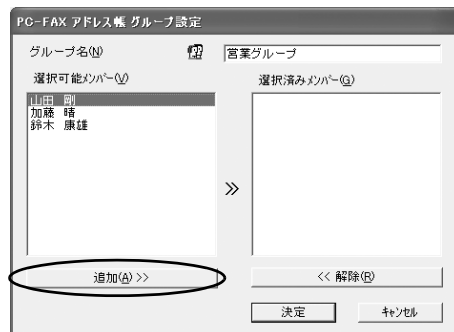
[グループ名] にグループ名を入力する



3

[選択可能メンバー] ボックスで、グループに追加するメンバーを選択してから、[追加 (A)>>] をクリックする

追加したメンバーは、[選択済みメンバー] ボックスに一覧表示されます。



4

メンバーの追加後、[決定] をクリックする

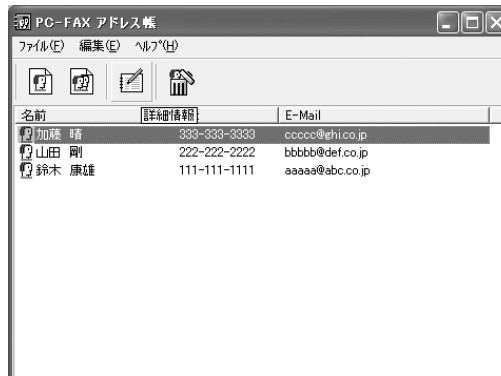
補足

- 1つのグループダイヤルに最大 50 件までメンバーを登録できます。また、グループダイヤルは最大 256 個まで登録できます。


アドレス帳の相手先またはグループ情報を修正する

1

[PC-FAX アドレス帳] ダイアログボックスで、
編集する相手先またはグループを選択する



2

 をクリックする



3

相手先またはグループ情報を編集する

PC-FAX アドレス帳 メンバー設定

名前(N): 敬称(T):

会社名(O):

部署(D): 役職(J):

国/地域(C): 郵便番号(N):

都道府県(P): 市町村(C):

番地(S):

勤務先電話番号(F): 自宅電話番号(H):

ファクス(X): 携帯電話(M):

E-Mail(E):

[決定] [キャンセル]

4

[決定] をクリックする
変更した相手先またはグループ情報が保存されます。


アドレス帳の相手先またはグループを削除する

1

[PC-FAX アドレス帳] ダイアログボックスで、
削除する相手先またはグループを選択する



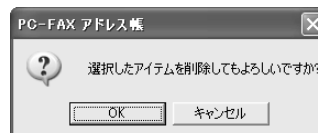
2

 をクリックする



3

[OK] をクリックする



アドレス帳をエクスポートする

アドレス帳は、CSV形式のファイルにエクスポートすることができます。また、選択されたメンバーのvCard（電子名刺）を作成し、送信者のすべての送信電子メールに添付することもできます。

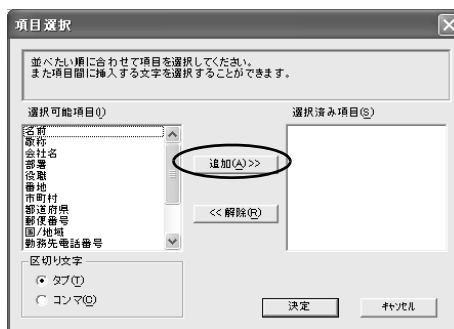
1

[PC-FAX アドレス帳] ダイアログボックスで、[ファイル] - [エクスポート] - [Text] の順にクリックする

[vCard] を選択した場合は、手順5に進みます。

2

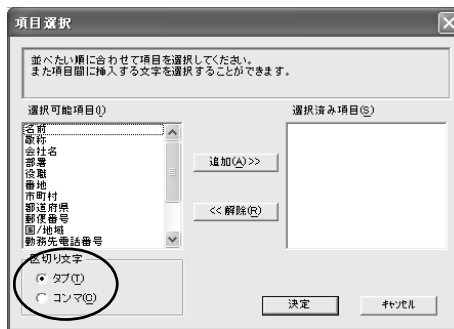
エクスポートする項目を選んで、[追加 >>] をクリックする



3

[区切り文字] で [タブ] または [コンマ] を選択する

この設定により、エクスポート時に各項目の間にタブかコンマが挿入されます。



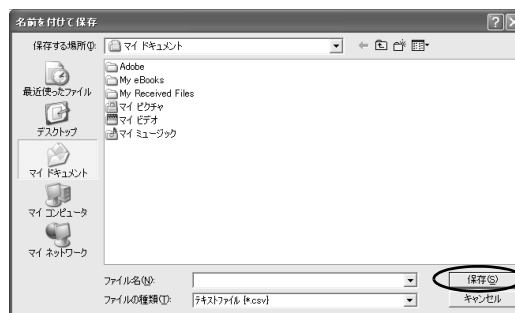
4

[決定] をクリックする

データがエクスポートされます。

5

ファイル名を入力してから、[保存] をクリックする



補足

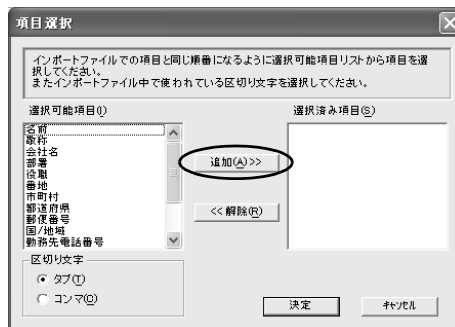
- アドレス帳をエクスポートすることにより、他のアプリケーションのアドレス帳として使用することができます。
- 手順1で[vCard]を選択した場合は手順5に進み、[ファイルの種類]は[vCard(*.vcf)]になります。
- エクスポートする項目を選択する場合は、並べたい順番に選択してください。
- vCard（電子名刺）には、送信者の連絡先情報が格納されています。
- vCardを作成する場合、メンバーを最初に選択しなければなりません。

アドレス帳にインポートする

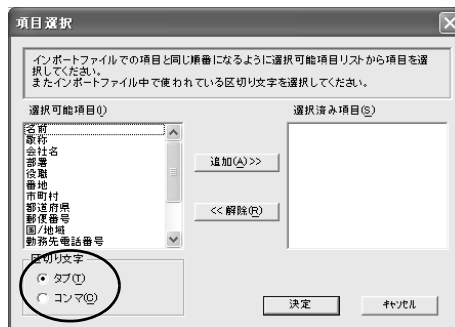
CSV形式のファイルまたはvcf形式のファイル（vCards：電子名刺）を、アドレス帳にインポートできます。

1 PC-FAX アドレス帳の画面で、[ファイル]-[インポート]-[Text]の順にクリックする
[vCard]を選択した場合は、手順5に進みます。

2 [選択可能項目]欄からインポートする項目を選択してから、[追加 >>]をクリックする

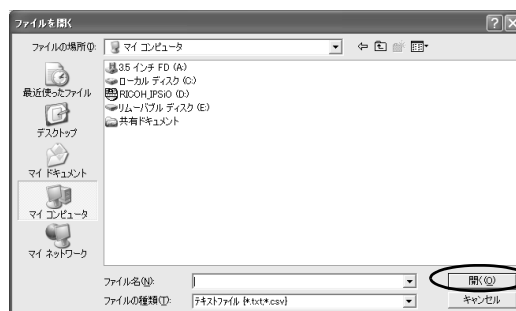


3 インポートするファイル形式により、[区切り文字]で[タブ]または[コンマ]を選択する



4 [決定]をクリックする
データがインポートされます。


5 ファイル名を入力して、[開く]をクリックする

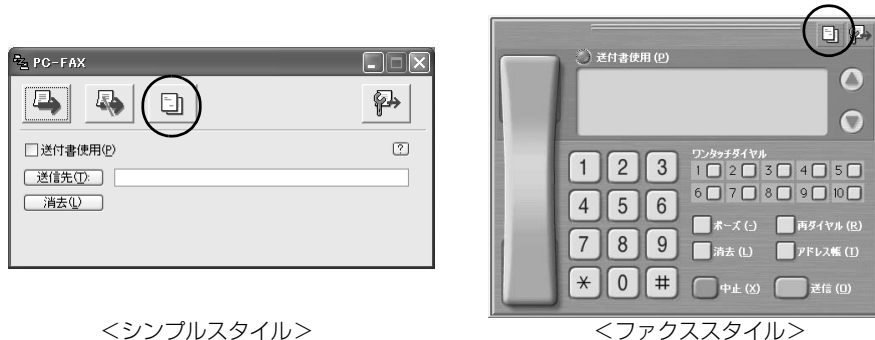


補足

- 手順1で[vCard]を選択した場合は手順5に進み、[ファイルの種類]は[vCard(*.vcf)]になります。
- インポートする項目を選択する場合は、元のファイル項目の並び順に合わせて選択してください。

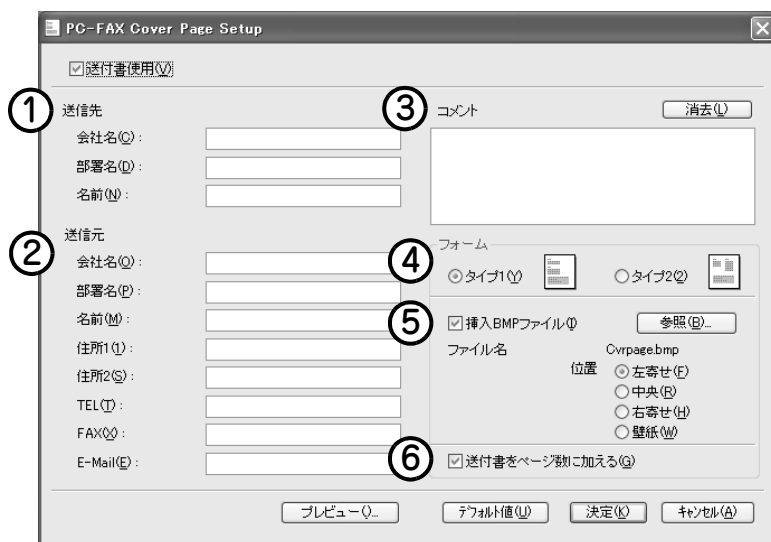
送付書を作成する

ファクスを送信する画面(シンプルスタイルまたはファクススタイル)で  をクリックすると、以下の画面が表示されます。



<シンプルスタイル>

<ファクススタイル>



① 送信先

送信先の情報を入力します。

② 送信元

送信元の情報を入力します。

③ コメント

送付書に追加するコメントを入力します。

④ フォーム

送付書のスタイルを選択します。

⑤ 挿入 BMP ファイル

会社のロゴなどのビットマップファイルを送付書に挿入する場合にチェックします。

[参照]ボタンをクリックしてBMPファイルを選択してから、ビットマップファイルの配置を選択します。

⑥ 送付書をページ数に加える


このボックスをチェックすると、送付書がファクスの送付枚数に含まれます。チェックを外すと、送付書は送付枚数に含まれません。

補足

- 複数の相手先にファクスを送信する場合、受信者情報は送付書に印刷されません。
- 個人情報が設定されていれば、送信元の情報は自動的に引用されます。

ファクスを直接コンピュータに取り込むための設定

本機の設定をする

PC-FAX 受信を起動する前に、本機の設定をする必要があります。 ユーザーズガイド (印刷版) P.98 を参照して設定してください。

[PC-FAX受信]を起動する


1

[スタート]メニューの、[すべてのプログラム (プログラム)] - [RICOH] - [ドライバ&ソフトウェア SP C210SF] - [PC-FAX 受信] - [IPSiO SP C210SF] の順で選択する

タスクバー上に PC-FAX のアイコン  10:40 が表示されます。

[PC-FAX受信]の設定をする

1

タスクバー上の PC-FAX アイコン  10:40 を右クリックし、「受信設定」をクリックする

「PC-FAX 受信設定」ダイアログが表示されます。

● PC-FAX 受信設定 ダイアログ



①ファクス受信時に Wave ファイルを鳴らす

ファクス受信時にWaveファイルを鳴らす場合はチェックします。





②スタートアップに登録する

このボックスをチェックすると、コンピュータを起動する際に自動的に [PC-FAX受信] が起動されます。

補足

- 受信FAXは My Documents¥My PageManager¥faxes フォルダに保存されます。(My Documents より上のフォルダ構成はご使用のコンピュータにより異なります。)
- Windows NT® 4.0 をお使いの方は、PC-FAX 受信設定ダイアログに受信 FAX を保存するフォルダを指定する画面が表示されます。任意のフォルダに受信FAXを保存することができます。
- PC-FAX受信ソフトウェア起動中はリモートセットアップは使用できません。

新規PC-FAX受信したメッセージを確認する

PC-FAXを受信すると青色のアイコン、がタスクバー上で交互に表示されます。
PC-FAX受信後は、が表示されます。
受信したメッセージを読み終わると、アイコンが緑色に変わります。

1

Presto!® Page Manager® を起動します。

2

フォルダ「Faxes」を開く

3

新規のファクスをダブルクリックする

新規のファクスが開き、メッセージを確認することができます。

補足

- 受信日時がファイル名として表示されます。
- Windows NT® 4.0 をお使いの方は、Presto!® Page Manager® がインストールされませんので、上記操作を行ってもPC-FAX受信メッセージは表示されません。
PC-FAX機能で受信したデータは、PC-FAX受信設定ダイアログ内で保存先に指定したフォルダに保存されます。このフォルダ内の受信データは、Windows® 付属のImagingなどのViewerソフトで確認することができます。

その他の便利な使い方 (ControlCenter2)

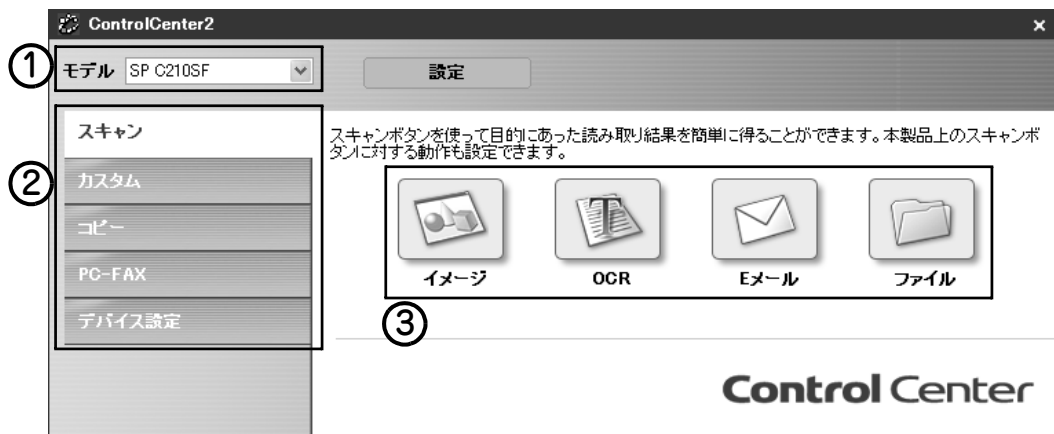
■ ControlCenter2とは	83
ControlCenter2の基本操作	83
使用できる機能	84
ControlCenter2を起動する	85
■ スキャン	86
■ カスタム	88
■ コピー	90
■ PC-FAX	91
■ デバイス設定	92

ControlCenter2とは

本機を設置したときにインストールされるソフトウェアのひとつで、本機が持つスキャナ、PC-FAXなどの機能の入り口の役割を持っています。

ControlCenter2の基本操作

ControlCenter2では、本機で利用できるさまざまな機能をボタンをクリックするだけで呼び出すことができます。ControlCenter2の画面が表示されたら、以下の手順で機能を選択します。



① モデル名を選択する

ネットワーク接続などで複数の機器が接続されているときは、操作するモデル名を選択します。

② 機能タブをクリックする

スキャン、PC-FAXなど機能の種類を選択します。

③ 使用する機能のボタンをクリックする

機能タブを選んで表示されるボタンから使用したい項目を選択します。設定されたソフトウェアや設定画面が起動し、機能が実行されます。

コンピュータと本機の接続方法によって表示されるボタンの数は変わります。

補足

- [設定] をクリックして表示されるメニューを使用すると、タブの表示内容に関係なく各項目の設定画面を表示できます。

使用できる機能

ControlCenter2画面の左側には、機能の種類別にタブが表示されます。それぞれのタブでできることは以下のとおりです。



① スキャン

使用する目的に応じて原稿をスキャンします。画像データとして保存したり、テキストデータを抜き出したり、Eメールにデータを添付することができます。**P.86** を参照してください。

② カスタム

よく使用する設定やソフトウェアを登録して、クリックするだけでスキャンできます。よく使う設定を4つまで登録できます。**P.88** を参照してください。

③ コピー

原稿をコピーします。コピー時の設定を4つまで登録できます。**P.90** を参照してください。

④ PC-FAX

スキャンしたデータを本機を使用してファクス送信できます。ファクスを受信して、内容を確認することもできます。**P.91** を参照してください。

⑤ デバイス設定

リモートセットアップを使って本機の設定を確認できます。**P.92** を参照してください。

補足

- [設定] をクリックして表示されるメニューを使用すると、タブの表示内容に関係なく各項目の設定画面を表示できます。
- Windows NT® をお使いの方は、ControlCenter2 から PC-FAX を起動することができません。[スタート] メニューから [すべてのプログラム (プログラム)] - [RICOH] - [ドライバ&ソフトウェア SP C210SF] - [PC-FAX 送信] - [PC-FAX設定]、[PC-FAXアドレス帳]、または [PC-FAX受信] を選択します。

ControlCenter2を起動する

1

[スタート] メニューから [すべてのプログラム (プログラム)] - [RICOH] - [ドライバ&ソフトウェア SP C210SF] - [ControlCenter2] を選択する

ControlCenter2 のウィンドウが開き、タスクトレイに  が表示されます。

起動時の動作を設定する

コンピュータを起動したとき、ControlCenter2 も同時に起動させることができます。

1

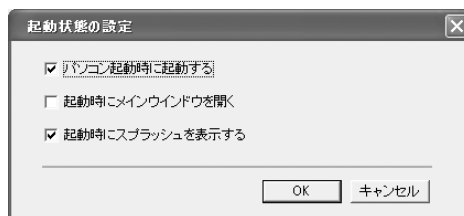
タスクトレイの  を右クリックし、[起動状態の設定] を選択する

「起動状態の設定」ダイアログボックスが表示されます。

2

起動時の動作を選択する

- パソコン起動時に起動する：
ControlCenter2 が起動し、タスクトレイで待機します。
- 起動時にメインウィンドウを開く：
ControlCenter2 が起動し、メインウィンドウを開きます。
- 起動時にスプラッシュを表示する：
起動時にスプラッシュ画面を表示します。

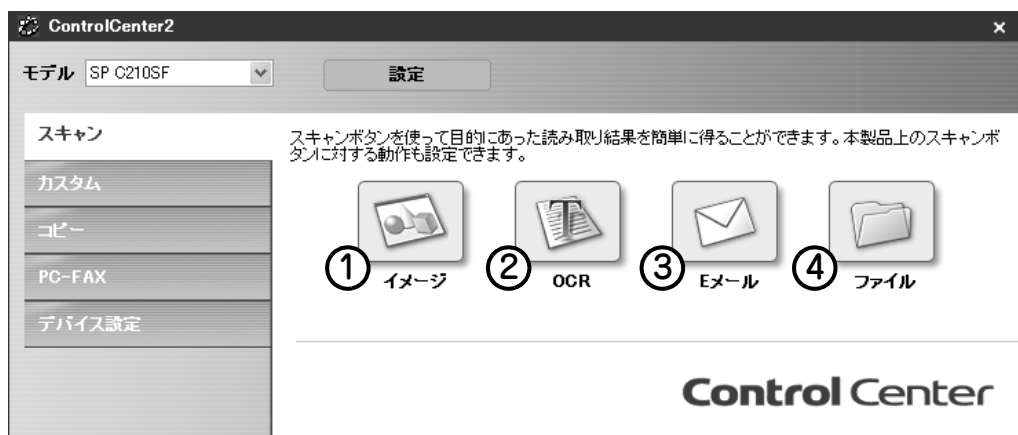


3

[OK] をクリックする

スキャン

使用する目的に応じて、データをスキャンします。本機のスキャンボタンの動作も設定できます。



① イメージ

原稿をスキャンして、任意のアプリケーションで開きます。

② OCR

文字の入った原稿をスキャンして、コンピュータで編集できる文字データ（テキストデータ）に変換します。

③ Eメール

スキャンした原稿を添付ファイルにして、メールの送信画面を起動します。

④ ファイル

原稿をスキャンして、すぐにコンピュータの指定したフォルダに保存します。

「Eメール」、「ファイル」の場合、ファイル形式を選択することができます。

ファイル形式－保存したいファイル形式をファイル形式のプルダウンメニューから選択することができます。

- Windows® ビットマップ (*.BMP)
- JPEG (*.JPG)
- TIFF－非圧縮 (*.TIF)
- TIFF－圧縮 (*.TIF)
- TIFFマルチページ－非圧縮 (*.TIF)
- TIFFマルチページ－圧縮 (*.TIF)
- ポータブルネットワークグラフィックPNG (*.PNG)
- PDF (*.PDF)

スキャンの設定を変更する

起動するアプリケーションやスキャン時の設定は、以下の手順で変更できます。

1

各ボタンを右クリックして表示されるメニューから **【設定】** を選択する

2

【ControlCenter の設定】 タブをクリックし、内 例) 「イメージ」 の場合
容を設定する

- プレビューを見たり、スキャン範囲を指定してからスキャンする場合は、**【プレビューを行う】** チェックボックスを選択します。
- **【本体スキャンボタンの設定】** タブをクリックすると、本機のスキャンボタンからスキャンする動作を設定できます。



3

【OK】 をクリックする
設定した内容で登録されます。

カスタム

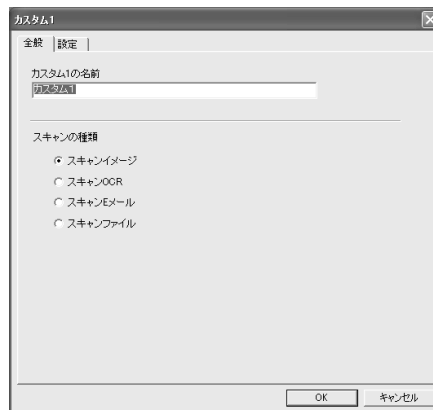
よく使用する設定やソフトウェアを登録して、クリックするだけでスキャンできます。よく使う設定を4 つまで登録できます。



よく使う設定を登録する

1

ボタンを右クリックして「設定」を選択する
「カスタム」ダイアログボックスが表示されます。



2

「カスタムの名前」に名前を入力する

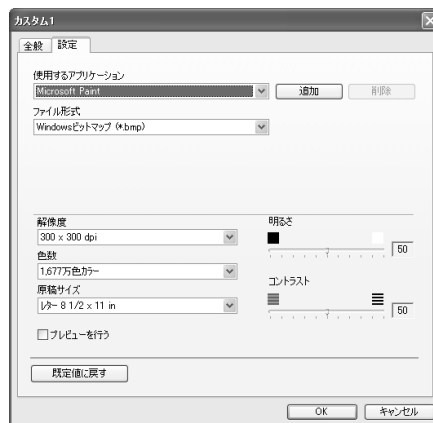
3

スキャンの種類を選択する

スキャンの種類は「イメージ」「OCR」「Eメール」「ファイル」から選びます。

4

「設定」タブで他の項目を必要に応じて設定する
プレビューを見たり、スキャン範囲を指定してからスキャンする場合は、[プレビューを行う] チェックボックスを選択します。





[OK] をクリックする

設定した内容で登録されます。

スキャンを実行する



原稿をセットして設定したボタンをクリックする

設定に従ってスキャンが実行されます。

コピー

原稿をコピーします。コピー時の設定を4つまで登録できます。



コピーの設定を登録する

1

ボタンを右クリックして「設定」を選択する
「コピー」ダイアログボックスが表示されます。



2

「コピー 1 の名前」に名前を入力する

3

「コピー設定」を選択する

「コピー設定」は、「100%」または「用紙サイズに合わせる」から選びます。

4

他の項目を必要に応じて設定する

プレビューを見たり、スキャン範囲を指定してからスキャンする場合は、「プレビューを行う」チェックボックスを選択します。

5

[OK] をクリックする

設定した内容で登録されます。

コピーを実行する

1

原稿をセットして設定したボタンをクリックする

設定に従ってスキャンが実行されます。

PC-FAX

スキャンしたデータを本機を使用してファクス送信できます。ファクスを受信して、コンピュータで内容を確認することもできます。




① PC-FAX 送信

スキャンしたデータをPC-FAX送信します。
右クリックでスキャンするデータの設定ができます。

PC-FAX 送信の操作については、[P.67](#) または [P.69](#) を参照してください。

② PC-FAX 受信を起動

ファクスをコンピュータで受信するときにクリックします。ファクスを受信すると、ボタンが  に変わります。

PC-FAX 受信の操作については、[P.80](#) を参照してください。
ネットワークケーブルで接続されているコンピュータからは使用できません。

PC-FAX受信設定については[P.80](#) を参照してください。

③ PC-FAX アドレス帳

PC-FAXアドレス帳に相手先を登録します。
PC-FAXアドレス帳の操作については、[P.71](#) を参照してください。

④ PC-FAX 設定

PC-FAXを送信するとき、ファクスのヘッダや送信者名に挿入される個人情報を登録、編集します。
個人情報の登録については、[P.65](#) を参照してください。

デバイス設定

リモートセットアップを使って本機の設定を確認できます。



① リモートセットアップ

コンピュータ上で本機に関する機能設定ができます。
ネットワークケーブルで接続されているコンピュータからは使用できません。
リモートセットアップについては、**P.57** を参照してください。

② 電話帳

コンピュータ上で本機の電話帳に関する操作ができます。
ネットワークケーブルで接続されているコンピュータからは使用できません。
詳しくは**P.62** を参照してください。


③ ステータスマニタ

コンピュータ上で本機のステータスマニタが確認できます。
詳しくは**P.20** を参照してください。


付 録

■ エラーメッセージが表示されたとき	94
■ 故障かな?と思ったときは	94
■ 使用環境	95
コンピュータ環境 (Windows®)	95
■ 索 引.....	97

エラーメッセージが表示されたとき

液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されたときは、 ユーザーズガイド（印刷版）**P.153** を参照してください。ユーザーズガイドに記載の処置を行ってもエラーが解決しないときは、サービス実施店へ連絡してください。

故障かな？と思ったときは

故障かな？と思ったときは、 ユーザーズガイド（印刷版）**P.157** を参照してください。ユーザーズガイドに記載の処置を行っても問題が解決しないときは、サービス実施店へ連絡してください。

使用環境

コンピュータ環境〔Windows®〕

本機とコンピュータを接続してお使いいただくには、以下のコンピュータ環境が必要になります。

OS/CPU/メモリー

- Windows® 98/98SE/Me
Intel® Pentium® IIプロセッサ300MHz (Pentium® 互換CPU含む) 以上/32MB (推奨128MB) 以上
- Windows® 2000 Professional、Windows NT® 4.0 (SP6以降)
Intel® Pentium® IIプロセッサ300MHz (Pentium® 互換CPU含む) 以上/64MB (推奨256MB) 以上
- Windows® XP
Intel® Pentium® IIプロセッサ300MHz (Pentium® 互換CPU含む) 以上/128MB (推奨256MB) 以上

ディスク容量

300MB以上の空き容量

CD-ROMドライブ

2倍速以上必須

インターフェース

Hi-Speed USB 2.0

パラレル

ネットワーク (10Base-T) / (100Base-TX)

- OS対応表
お使いいただいているコンピュータのOSによって本機で使用できる機能が異なります。

	Windows® 98/98SE/Me/2000/XP	Windows® NT® 4.0 (SP6以降)
プリンタ	○	○
スキャナ	○	○
Presto!® PageManager®	○	×
PC-FAXソフトウェア	○	○
リモートセットアップ	○	○
ControlCenter2	○	○
ステータスマニタ	○	○

補 足

- USBケーブル、パラレルケーブル、ネットワークケーブルは市販のものをお使いください。
- USBケーブル、パラレルケーブルは長さが2.0m以下のものをお使いください。
- お使いの機能により、必要な動作環境は異なります。メモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。
- USB接続は、次のパソコンに対応しています。
Windows® 98/98SE/Me/2000 Professional/XP
- Windows® 2000 Professional/XP、Windows NT® 4.0を使用してる場合は、アドミニストレータ (Administrator) 権限でログインする必要があります。
- Windows NT® 4.0を使用してる場合、パラレル接続しているときはスキャナと ControlCenter2 に対応していますが、ネットワーク接続では対応していません。

索引

数字

2400dpi クラス出力	12
2L 判	51

A

A4	51
A5	51

B

B5	51
----	----

C

ControlCenter2	82, 83
----------------	--------

I

IEEE1284	12
----------	----

L

L 判	51
-----	----

O

OHP フィルム	12
----------	----

P

PC-FAX	65, 91, 92
--------	------------

U

USB	12
-----	----

W

WIA	54
-----	----

い

色数	51
印刷する	13

え

エクゼクティブ	51
エラーメッセージが表示されたときは	94

か

解像度	50
カスタム	88
カラー	51

く

グレースケール	51
---------	----

け

原稿サイズ	51
原稿をスキャンする	49, 53

こ

故障かな?と思ったときは	94
コピー	90
困ったときには	94

す

スキャン	86
スキャン E メール	44
スキャン OCR	47
スキャンイメージ	46
スキャンファイル	48

せ

セキュリティ印刷	32
----------	----

そ

双方向パラレルインターフェース	12
-----------------	----

て

デバイス設定	92
--------	----

と

トナー節約モード	33
----------	----

は

ハイスピード印刷	12
ハガキ	51

ふ

普通紙	12
プリンタとして使用する前に	11
プリンタとしての特長	12

め

名刺	51
----	----

も

モノクロ	51
------	----

ゆ

ユーザー定義サイズ	51
-----------	----

り

リーガル	51
リモートセットアップ	57

れ

レター51

株式会社リコー

東京都中央区銀座8-13-1 リコービル 〒104-8222

<http://www.ricoh.co.jp/>

お問い合わせ先


お買い上げいただきました弊社製品についての消耗品のご注文や修理、製品の操作方法に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にご連絡ください。

修理については、修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。

転居の際は、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。転居先の最寄りの販売店、サービス実施店をご紹介します。

リコープリンターコールセンターIPSiOダイヤル

製品の操作方法に関するお問い合わせは、「リコープリンターコールセンターIPSiOダイヤル」にご連絡ください。

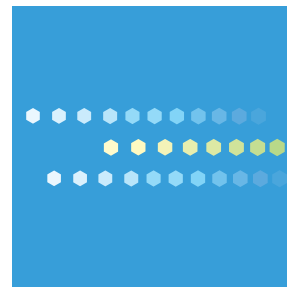
コールはイプシオ
 **0120-56-1240**
FAX 0120-479-417

- 受付時間：9～12時、13～17時（土、日、祝日、リコーの休業日を除く）
- ※対応状況の確認と対応品質の向上のため、録音をさせていただいております。

最新プリンタードライバー情報

最新版のプリンタードライバーをインターネットのリコーホームページから入手できます。

- インターネット/リコーホームページ：<http://www.ricoh.co.jp/>



リコーは環境保全を経営の優先課題のひとつと考え、リサイクル推進にも注力しております。

本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。